臺灣日日新報

謹賀新年

謹賀新年
昨年中は本紙上を以て新年の御挨拶申上候小生老齢の事とて年始御禮の儀相止め候間不惡御諒察被下度候　敬具
於東京
赤石定藏

謹賀新年
臺北市榮町
書籍雜誌
蓄音器
卓上印刷器
文明堂書店
電話八三〇番

臺北市榮町二丁目
富島商事合名會社
電話二〇八四番

吳服太物
白生地類
洋反物商
美術京染
山城屋吳服店

菊谷隆一商店

菊谷商店進物部

和洋料理
仕出し
丸松

倉橋自動車商會

臺北貸家業組合
組合長　竹下吉要

勝山寫眞館

本田電氣商會
電話二四七〇番

キハツ
クリーニング
西洋洗濯
神戸屋
電話二九三五番

カフェー龍山

臺灣シネマ商會
代表者　古澤伸一

諸機械設計製作並ニ修理
廣畑松平

謹みて新春の御挨拶申上ます
本年も相變らず御引立を願ひます
南國亭
カフエー
ウキヨ

高雄海員友信會

臺灣白蟻驅除豫防作業所
臺北市新起町一ノ二〇
河西福貴
電話三〇三八番

福引御引殘しの方々の爲めに
明四日午前九時より（午前中）
福引場再開
本町聯合賣出會

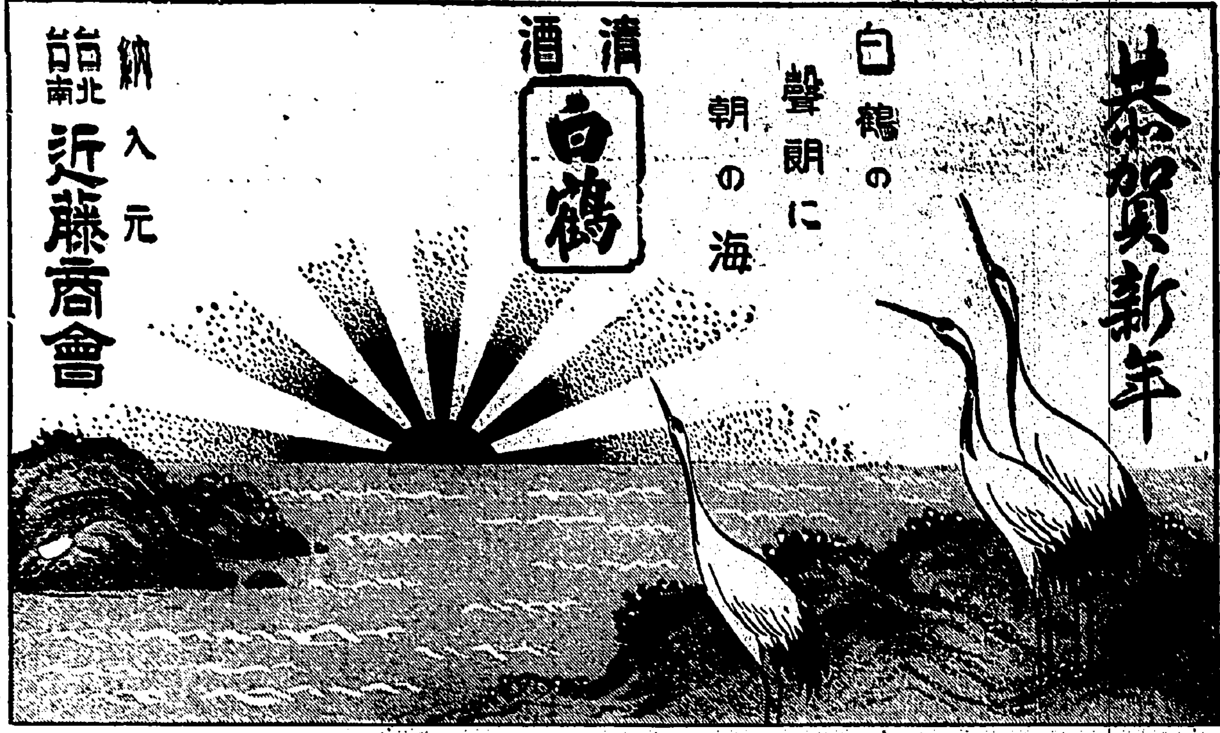
施禎益

謹賀新年
本年も相變らず
御愛顧の程願上候
昭和八年一月一日
臺北市榮町二丁目二十番地
新高堂書店
村崎長昶

●齒痛に頭痛はガオガンで直る●

恭賀新年

白鶴の聲朗に朝の海



納入元
台北
台南
近藤商會

新案內藤式無煙風呂
井千鍋商會
電話二四七六番

臺灣防暑ブロック製作所

北斗郡
大城庄役場
庄長　劉崧袖
助役　許川田

潮州料理屋飲食店組合

有限責任
潮州信用購買利用組合

劉安紅

蔡石吉

李開榮

陳通

潮東土木建築請負組合

潮州庄
高瀨光造

潮恒自動車株式會社

學生募集
財團法人
日本齒科醫學專門學校

有限責任
新埤信用購買利用組合

愛生醫院
王炳水

范石養

新涼旅館
西岡ツネ
電話一〇番

潮州庄潮州
購買組合
河野通林

大阪商船
近海郵船

第貳拾九回決算公告
日華紡織株式會社

社團法人
臺灣土木建築協會
臺北市大和町二丁目八番地（電話八二五番）

藥
新藥
賣藥
醫療器械
度量衡
化粧品
勉强と親切
廣生堂藥舖
臺北市榮町四丁目
電話九一一番
電話一九八九番

純良白葡萄酒
皇ホワイトワイン

新春
各位の御健康を祈る

火急お願ひ！
書店に、婦人雜誌を見せよとお命じ下さい。
質物を御比較の上―
お氣に召さねばお返しは御自由です。

新年號では―
婦人倶樂部が斷然第一！
●第一附錄…花嫁花婿必要帖（堂々四百頁の大書籍！）
●第二附錄…ペン毛筆婦人實用習字帖（二百頁の折本大書籍）
●第三附錄…名畫色紙十二ケ月（大判色紙十二枚袋入り）
●第四附錄…人相手相獨り占ひ（百二十頁の圖解入美本）

四大附錄と六百頁の本誌―
合計五册でタッタ七十錢！
安い〳〵！買ってびっくり！
評判は評判を生んで、賣れる〳〵！
增刷　大增刷、物凄い大盛況！
これこそお手に入れねば一生の憾み、只今スグお求め下さらぬと賣切れて終ひます

斯界の驚異!!
商店界
素晴らしき新年號
自力更生の活路
店主の眼のつけどころ
溫情主義は存在するか
小賣店廣告の企劃を論ず
仕入の根本觀念は何處へ置く
商店法と良き店員の養成
新式營業原簿の作方
商業組合法の上手な利用
サービスとは何を意味するや
小賣店廣告は如何にするか
景氣は次第に好轉する　武藤山治
一九三三年小賣業界動向　伊藤重治郎
百貨店の自制案と小賣店　小池四郎
自力更生の新戰略！
ヴランタリーチェンを語る
今年はこの意味で商賣をしたい

商店日記
出た！商店界の大附錄！
商賣人必携の商店日記!!
昭和八年度略暦・日出日沒早見表・吾が店のすがた・吾が標語・本年豫定欄・保險契約欄・店員原簿・各月豫定表・金錢出納・廣告記錄・經營費一覽表・出入商人名簿・商品券發行簿・貸借算出表・商品回轉率一覽・商事願屆書式・公債株式利廻・新制度量衡表・商業組合法等々
表紙金刷四六版五百頁近い大冊
定價八十錢

廣告界
廣告立案手引號
明日の廣告政策立案
立案は如何にして認められるか
廣告立案採點
小廣告立案狙ひどころ
宣傳廣告の費用はどうして定めるか
廣告部費とは何にか
商業美術家出世術
ドイツ廣告美術界より進出して
ソビエトロシヤに於ける廣告媒體
婦人の眼に映る廣告は
新聞廣告はスペースは
海外廣告界ニュース
米國廣告寫眞競技會記
日本全國廣告大會記
マーク・緣起
グラフ
ページ
實用圖案
定價壹圓廿錢

別册附錄
大好評重版・來多武六先生快著
廣告實務便覽

豪商蓄財術物語
金儲の方法を暗示する古今の黃金史

東京市神田區錦町
誠文堂

元旦曉闇の中を 聖上四方拜の御儀

歲旦祭に引續き兩陛下拜賀式

昭和八年の元旦、宮中では新春の大地おほらかに明けそめる午前四時元旦水にて御潔齋遊ばされた天皇陛下には四五時半といふに

綾綺殿 から賢所御殿に出御あらせられて伊勢神宮をはじめ四方の神祇、伏見桃山、多摩の各山陵に御遙拜[illegible]民の多幸を御祈念、續いて歲旦祭に移らせ、庭燎はのん〳〵ともえ御神樂とどろ〳〵と響きわたるうちを賢所皇靈殿神殿に御拜づき給ふ、神々しき御鈴の打ち振ふ音――元旦の大內山、神域のほとりは大出のしじまに似て、御拜は未明のほのじろく同六時御終了陛下入御遊ばさる。皇后陛下はこの間御內儀で御遙拜の[illegible]。かくて新春の陽光照り輝く午前十時、天皇陛下には皇后陛下

御同列 にて鳳凰の間に出御遊ばし、二の間より御儀の間に御參進の秩父宮高松宮殿下はじめ奉り各皇族殿下と御對面年の始めの御祝を受けさせ給ひて正殿にて西溜間より參進の各大勳位齋藤首相以下各國務大臣、[illegible]樞府議長以下各顧問官、親任官、各有爵者同夫人同伴の文武顯官に對し數度にわたり拜賀を受けさせたまふた、この朝陛下には輝かしい大勳位菊花章その他數多の勳章御佩用の御いかしこき大元帥の御正裝、皇后陛下には、マント・ド・クールのトレーンを若き公達に捧持せしめられた楚々たる

御洋裝 にておはした拜賀の諸官は、兩陛下の御健勝の御姿を拜して竹の園生の彌榮を寿ぎ奉つたのであつた

何柱國が辭表提出

學良は考慮中

【北平一日發電通】山海關事件に關し第九師長何柱國は三十一日付をもつて學良に對し辭表を提出した然してその理由は過般の山海關事件に關し上長の命を奉ぜずして勝手に日本軍に衝突したるにあるが學良は彼を免職すべきや否やに就き考慮中

陣中の元日

拜賀式後雜煮を祝ふ

【新京一日發電通】滿洲の大平原を皚く暟曜し强賊と戰ひ王道樂土の建設、治安維持の礎保の爲日夜警備を固けた關東軍では晴れの昭和第八春を新京に迎へ聖壽の萬歲を祈るため元旦司令部營庭に於て拜賀式を行つた、午前九時三十分正裝の武藤司令官は威儀を正して前庭に立ち出で小磯、岡本正副參謀長以下幕僚及び各部長一同は綺羅星の如く整列、全員東天遙拜の禮をなし御眞影を奉拜し、終はつて小磯參謀長は軍司令部一同を代表し武藤司令官に對し新年の祝辭を述べ新しい第二年の飛躍を誓ふ次で武藤司令官の發聲で天皇皇后兩陛下の萬歲を三唱して拜賀式を終はりそれより一同雜煮を祝杯を擧げた

一月十六日以前に 戰端を開けと嚴命

國府から熱河の僞勇軍其他に

【南京三十一日發電通】國民政府は本日張學良を通じ熱河の東北僞勇軍及び民團軍に對し熱河に於ける日本の立場を窮地に陷らしむる策略上一月十六日前に日本軍と戰端を開くべしとの嚴命を發した目下熱河にある東北義勇軍の配備左の如し

第一路 [illegible] 熱河 第二路 [illegible] 第三路 [illegible] 第四路 [illegible] 第五路 [illegible] 北票

其他四十餘旅等の各民團軍を各地に配してゐる

各地駐屯軍に平津集結密令

【南京一日發電通】確報に依れば國民政府は更に各地駐屯軍に對し平津集結密令を發し日本軍と局面的戰鬪を開始すべく諸般の準備を整へてゐる右は蔣介石も熱河を失ふは滿洲擾亂の根據を失ふを恐れた結果である

元旦を期し皇軍勇躍出動

東鐵東部線の匪賊掃蕩に

【奉天一日發電通】姫路○○は昭和八年元旦を期し東鐵東部線一帶の匪賊掃蕩の爲め一齊に行動を開始したが山城子駐屯鹿兒島○隊、中村中佐の指揮する○隊も姫路○○の指揮下に入り勇躍出動した

ソ國政府 駐支大使任命

ボゴモロフ氏を

【モスクワ一日發電通】ソヴエット政府は駐支大使としてデイミトリー・ボゴモロフ氏を起用するに決し南京政府にアグレマンを求めてゐた所承諾を得たので同氏を駐支大使に正式に任命した、同氏はポーランド駐在公使、駐英大使館參事官を經へ駐英大使館參事官となり今日に至つた少壯外交官である

都城飯田部隊

最初の犧牲者は三名

【奉天一日發電通】三十日[illegible]に出動中の都城○○部隊飯田部隊の最初の犧牲は三十一日[illegible]の新村附近で[illegible] 陸軍一等兵佐藤伊三郎（宮崎縣）永保[illegible]（[illegible]）[illegible]負傷五十名であつた

四百の敵を擊破

吉敦線の鷲津部隊

【奉天一日發電通】吉敦線方面の鷲津部隊は三十一日[illegible]の敵四百と衝突[illegible]まで之を追擊し完全に之を殲滅した

『抗日全權辦理』に

張學良を任命す

【天津一日發電通】[illegible]南京國民政府[illegible]蔣介石から左の電命に接した北方の軍隊は[illegible]に依り張學良を河北抗日全權辦理に任ず今後該方面の指揮は中央の指示を待たず抗日戰爭に努力さるべし

石本氏は監禁中

學良から國府に返電

【天津一日發電通】石本權四郞氏の還り返電した[illegible]が日本側を刺戟してゐるとの報に國民政府は熱河を失ふ事を恐れ外交部長から張學良宛て照會せしを打電したるに對し張學良は二十九日返電の通り石本權四郞は未だ熱河軍の手で監禁してゐる[illegible]熱河の[illegible]せんとせらず[illegible]釋放することが出來ぬ

本社の福引で幸運を引當てた人々

寫眞上から特等末廣早苗さん、一等小林詮君 二等大塚守君(右)和泉惣郎氏(左)

瑞色溢るる 宮中の第二日

兩陛下拜賀を賜ふ

【東京二日發電通】新年拜賀第二日は二日午前十時より宮中正殿に於て御正裝の天皇陛下、マント・ド・クール裝の美しき皇后陛下出御の上召された宮中席次第三階高等官二等功二級勳一等、親任待遇、伯爵、從二位、勳二等、子爵、正三位、從三位、功三級、勳三等男爵、正四位、從四位の各資格者同夫人に對し拜賀を賜はり續いて宮中席次第四階三十九名の貴衆兩院議員以下同六階以上高等官以下同八階以上待遇及び高等官九等奏任待遇の神職、各宗派寺院の住職等にも拜賀あり午後一時より四時までには正七位以下の有位者功六級勳七等以下有勳者奏任待遇の參賀を差許された尙この日大宮御所に於て同樣な拜賀參賀の有資格者參內し瑞色溢れた

新春を迎へた 齋藤首相

年賀狀が山の樣

【東京二日發電通】非常時內閣の齋藤首相は組閣以來半歲を過ごし目出度七十六歲の春を迎へた、谷中町の子邸では早旦五時いつもの如く起床し庭前で唯一の健康法朝の運動で一汗かき冷水で身を淸め初日の出を拜し伊勢大廟と可愛[illegible]を拜する、嗣子齊君夫婦と可愛い盛りの孫さんが年賀に訪ねる、續いてミナ子夫人の心を籠めた祝膳が運ばれ一家五人水入らずでお屠蘇を祝ふと海軍大將の盛裝にて午前八時自動車で參內、宮中から退出すると大宮御所を初め各宮家を回禮し正午歸邸すると柴田書記官長、兒玉伯、有吉、丸山、湯淺の家の子郞黨が挨拶に來るが政黨內閣の總理に比して年賀の客も極めて少く、いともつつましい金屛風を立てて老松の盆栽を配して大玄關先には全國津々浦々からの年賀狀が山の樣に積重ねられた

內田嘉吉氏

重態に陷る

【東京二日發支局特電】前臺灣總督內田嘉吉氏は急性肺炎にて、一日夜半から重態に陷つた

上院視察團

タロコ峽探勝

【宜蘭電話】來臺視察中の貴族院議員西尾子爵以下五名の一行は案內役たる總督府の櫻田園之に吉田[illegible]技師を臨へ客月三十一日宜蘭發にて午後六時四十六分蘇澳驛着[illegible]館泊り翌元日午前七時三十七分蘇澳驛發午前八時四十九分蘇澳驛着同九時東海自動車のハイヤーを飛ばして國立公園の候補地として特にその峽谷美に於て日本一と稱されてゐる花蓮港廳下のタロコ峽に入りパタガン駐在所の倶樂部に一泊し二日朝同所出發花蓮港に向つたが一行はタロコ峽の中でも數千尺の深さを有する大斷崖から第二斷崖に至る間の絶景に對しては殊に驚いてゐた模樣である

千五百の官民會合し 臺北の新年交禮會

松岡全權と皇軍に慰勞電發送

總督の發聲で萬歲三唱

臺北市官民合同主催の新年交禮會は瑞氣漲る一日午前十時二十分から鐵道ホテルに於て盛大に開催された、出席者は中川總督をはじめ文武官民千五百名に達し空前のレコードを示し大食堂と餘興場の二ヶ所に分れて開催、一同着席するや川添助役開會の辭を述べ西澤市尹は滿場の拍手を浴び發起人を代表して壇上に起ち別項の如き挨拶をなし開宴となり、宴半ばにして西澤市尹は

臺北市民を代表し在ゼネバの松岡全權竝に滿洲及び支那に於て活躍中の我將兵に慰勞の電報を發送したい

とて、松岡全權、武藤關東軍司令官、中村北支駐屯軍司令官、山內馬公要港部司令官宛の別項の電文を朗讀し賛成を求むるや萬雷の如き拍手を以て之を可決し斯くて君ヶ代を合唱し、中川總督の發聲で天皇皇后兩陛下の萬歲を三唱し同三十五分散會した

西澤市尹の挨拶

茲に昭和八年の新春を迎へ總督閣下を始め官民各位の御會同を仰ぎ恒例に依る臺北市新年交禮會を開催するは誠に本市の光榮とする所であります御許を得まして僭越ながら、私より御挨拶を申上ます[illegible]張との裡に終始し內外未曾有の難局を突破して大國民の試鍊を經、希望と光明とに輝く此新年を迎ふるに當り謹みて聖壽の萬歲を讚き奉ると共に國運愈々隆昌に赴きつゝあるは

我々國民 として洵に感激に堪へざる所であります本年の干支は恰も癸酉に當ります、その鷄の聲は時運に目覺めたる大和民族の雄叫であり又昭和の現代に於ける我國の世界的躍進の表徵であつて恰も神代の昔天の岩戸の故事を追想せしむることは實に我が建國の使命を明徵ならしむるものであります、今過去一年間を回顧致しますれば一月末には上海事件勃發し三月には滿洲國獨立の宣言となり帝國は東洋に永遠の平和を齎すべき唯一の方策として率先之を承認し非常の誼を厚ふすると共に之に援助を與ふることとなつたのであります、越えて十一月以降はこの滿蒙問題を中心として帝國の使臣は悲壯の決意を以て頻りに折衝を重ねつゝあるも聯盟は尙東洋の現實に暗くして信頼するに足らず局面は如何に展開するか頗る憂慮する所であります一方

世界平和 の禍根を成す中華民國は更に曖昧の態度を採り東洋平和の前途は容易に見究め難く我が帝國は正しく非常の秋に際會し今後幾多の難艱に逢ふことを覺悟せねばなりませぬ又內に在りては財界の不況は愈々深酷を加へ前途洵に憂慮に堪へざるものがあります此の難局に方りて我々國民たる者は常に明治維新の鴻業を回想し擧國一致內は自力更生の實を擧げて經濟の難局を打開すると共に外は帝國の公正妥當なる主張に依りて國威の宣揚と國力の充實と、以て世界の平和と人類の幸福とに向つて邁進せねばならぬことゝ考へられます、顧みて我が臺灣に就いて見まするに歷代總督閣下の施設は一々皆榮に富み[illegible]としての[illegible]的發展の實現に向つて長足の進展をなしつゝあります、殊に最近に於ける不況時匡救事業は恣々其の效を奏し本島に於ても漸次景氣挽回の動向を見るに至りたるのみならず多年の懸案たる內臺共婚法も中川總督閣下の蒞任に依りて愈々實現するに至りたるは

本島統治 史上の劃期的事蹟として洵に感謝と慶賀とに堪へぬ所であります、我が臺北市も市制施行以來已に十有三年を經、この間に於ける市政の發展と市民生活の向上は極めて顯著なるものがあり、本島の首都として其の面目を恥かしめない程度に達せることは二十六萬の市民と倶に最も欣ぶところであります、然れども行政の各般に亙りて仔細に考ふれば施設經營を要するもの山積し就中國語の普及防疫施設の完備と市街防排水計畫の如きは首都の建設上一刻も棄て置き難き重要問題であります、この時局に際して島都の完成を圖らんが爲には一面上局に向つて相當の財政的援助を仰ぐと共に他面市民諸君の熱烈なる公共的[illegible]の觀念に訴へて堅忍不拔の努力に倚賴せねばならないのであります

明治天皇 の御製に「千萬の民の力を集めてぞ國はゆたかになすべかりける」と仰せられてあります、我々は及ばずながらこの大御心を以て心となし區區の感情、個々の利害に捉はることなく、內臺官民の別を論ぜず協心戮力刻下の難局を切拔けると共に本市永遠の繁榮と市民福利の增進とに向つて着々その歩を進めんことを切望する次第であります、聊か所懷を陳べて新年の御挨拶を致します

景氣よく練廻る 昨日の初荷

臺北市內の各商店が

臺北市內に於ける二日の初荷は午前五時より繰出した東光油脂工業を始め老松町森田商店のどりこの、ノービール、鶴印又、山サ、鶴印西其他數店例により赤旗をひろがへし貨物自動車を連ねて市中を練り街頭の景氣を大に引立てたが中にも「どりこの」の初荷は樂隊入りで特に異彩を放つた既報の外、榮町水月でも森永製菓とボンタン飴の初荷をトラックに滿載して市中に配達した、尙四日は森永製品販賣會社と十一屋化粧品卸部の外、花王石鹼臺灣總代理店市內表町大嶋公司が午前七時頃から自動車數臺で賑々しく花王石鹼、金鶴香水、御園化粧品、ベジリン香水等の初荷を出し午後全市に宣傳をなす

高雄の初荷

【高雄電話】新春二日の高雄市は元旦同樣の好天氣で各商店の初荷は景氣よく市中を練り市內は拜賀客で賑ひ終日正月氣分が漲つた

慰問電報に 早速謝電

山內司令官から

臺北市の西澤市尹は元旦に當り島都市民を代表し遙なるゼネバの日本代表部松岡全權及び關東軍武藤軍司令官、中村支那駐屯軍司令官及び山內馬公要港部司令官に宛夫々次の如き慰問を兼ねた祝賀電報を發した

松岡全權宛

新年を迎ふるに當り臺北市民を代表し貴全權を初め日本代表部各位の一方ならぬ勞苦を拜謝し今後の御健鬪と御安康とを祈りあぐ

臺北市尹 西澤義徵

關東軍北支駐屯軍及び馬公要港部宛（同文）

邦家のため萬難を排して奮鬪せらるゝ閣下並に忠勇なる將兵各位に對し臺北市民を代表して新年の祝意を表すると共に厚く慰問の誠意を表す

臺北市尹 西澤義徵

元旦臺北市尹より發した祝賀電報に對し同日山內馬公要港部司令官より次の謝電が到着した

御鄭重なる御慰問を拜謝す

各官衙の 拜賀式

一日嚴かに擧行

新年に當り總督府をはじめ全島各官衙では一日午前九時から夫々拜賀式を嚴肅に擧行した

本社の拜賀式

本社の新年拜賀式は一日午前九時より三階講堂に於て擧行されたが社員、工場員三百餘名出席、先づ河村社長の年頭辭としての希望あり長谷支配人一同を代表し祝辭を述ぶると、ところあり河村社長の發聲にて兩陛下の萬歲を、ト[illegible]日日新報の萬歲を夫々三唱し前田秘書より赤石[illegible]の祝電を披露九時半散會したが、右電報には次の一首が加へられてゐた

たまほこの道踏み迷ふ闇の世にあかつきつぐる鷄が音もがな

扶桑丸より

（來航）門司にて元旦を迎へ愉快に南下三日午後一時基隆着外客、安達南滿洲鐵道理事、松方帝糖社長、神下日石專務、森岡技師、小川大連市長、笠原同市會議員、北一中ラグビー選手その他（二日寄無電）

人事

▲市塚常次郎氏（日糖[illegible]社長）一日來臺（日の丸館）

シナチク

年賀の行事も一年毎に簡易化され合理化されてゆくことが著しく眼につく、特に本年の元日などは非常時の下の新年だけに一層その氣分が動いてゐたやうだ▲島都の新年交禮會は千五百名の出席者を見、空前のレコードを作つたさうだが、アレで一應の新年の交禮は濟んだ譯だ、その證據には恒例により總督官邸から長官官邸へと流れしてゆくのだが、本年は總督官邸でも長官官邸でも名刺だけ出してさつさと賀客の流れは引つ返し例年の樣に賀客の大部分が總督官邸の大食堂へ詰め寄せるといふ樣な事もなかつたとのこと▲島長邸では岡田財務局長の官舍が特別に景氣がよかつた位のもの、尤も岡田財務の官舍が特別に賑はつたのには好い意味での理由がある。然し之に相當の特だねであり他日の[illegible]に岡田君が[illegible]一家をなし家元格になる事實を紹介することとしやう

謹賀新年

臺南市西門町四ノ七九 合資 御料理 醉仙閣 電話二二三番

臺南 永野直

新營郡役所 大田周夫

臺南 靑柳健一

臺南市東門町（電話一〇八七） 臺南家政女學院 院長 王兆麟

臺南市錦町 山本蓄音器店 高雄支店

臺南市花園町 土木建築請負業 田中武七 電話八二〇番

臺灣南部齒科醫師會 臺南會員（いろは順）

臺南市白金町 石原齒科醫院

同末廣町 今中齒科醫院

同錦町 八木齒科醫院

同大宮町 山田齒科醫院

同錦町 野谷齒科醫院

同綠町 藤井齒科醫院

同本町 江頭齒科醫院

臺南市白金町 壽生醫院

臺南市白金町 同生醫院 王受祿

臺南市高砂町 遠生醫院 石遠生

臺南市本町三丁目 崇文堂書店 電話[illegible]

臺南市白金町二ノ五一 西陶器店 電話六六九番

臺南市本町二丁目 西提灯店

臺南市本町三丁目 西履物店 電話三三三番

臺南市錦町 田中寫眞館 電話九八一番

臺南市保正有志（いろは順）

陳林 王莊吳黃洪許謝 趙石

園敬叔 大燦森延西炳恒 澄秀

渠忠恒川鈴玉禎岐煌燃源芳

臺南市大宮町 田尻履物店 電話四五八番

臺南市本町三丁目 吳服太物 比佐古屋 電話一五九番

洋雜貨 婦人小間物 子供服 エプロン各種 臺南市錦町 本村洋品店 電話一〇三番

日用雜貨 臺南市錦町三ノ〇三 遠藤福太郎商店 電話二四五番

臺南市高砂町二ノ一三 吳丙丁

漢藥種商 臺南市高砂町二丁目一三 金合源藥行

歐米百貨 臺南市末廣町三丁目 五福商店 電話四三六番

有限責任 臺南店仔口信用購買利用組合員一同

臺南市永樂町 金源合鐵工場 翁螺

臺南市臺町二 御料理 南美樓 電話八六一番

臺南市西市場內 食料品雜貨 西南商店 電話九八五番

臺南市大宮町一丁目 榮安堂大藥房 支店 臺南市本町三丁目 吳純仁 電話二六五番

臺南市高砂町三ノ一四 土木建築請負業 林宗海

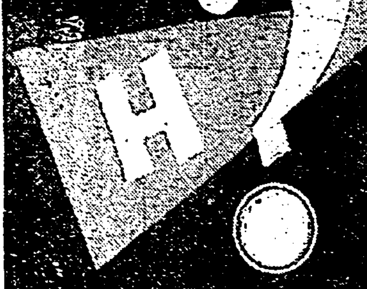
公債株式現物賣買問屋 臺南市本町四丁目八四 大源株式店

臺南市新町 御料理 小蓬萊 電話四九〇番

臺南市白金町三ノ三一 カフェー蝴蝶 店主 一郞 女給四十名 一同

懸賞

野球戰の優勝チームは？



懸賞課題

一、法政野球チームと全高雄、全臺南との兩試合でホームランは何本出ますか（出なければ出ないといふのが正解です）

一、締切　一月六日（當日の消印あるものは有效）

▲用紙　官製ハガキのこと

▲發表　昭和八年一月二十日

▲宛名　へ必ズ臺灣日日新報社廣告部

賞品

壹等	[illegible]	壹本	一人
貳等	[illegible]	二本	二人
參等	[illegible]	四本	四人
四等	明治ドロップ	五十本	五十人

味美ければ心自ら樂し

キッコーマン醬油

宮內省御用達　野田醬油株式會社

純植物性……芳香絕佳

井筒ポマード

整容は先づ頭髮から

◎お最寄の化粧品店藥店雜貨店にて御買求め願ます

定價
¥0.75
¥0.50
¥0.45

東京　本舖　井筒屋香油店

スポーツマンにオリザニン

オリザニン（ヴイタミンB）は心臟力を强め疲勞を防ぎ又その恢復を迅速ならしむる效果顯著なるを知られ**スポーツマン**間に盛んに推奬せらるるに至れり。

參考文獻
醫學士　深山泉氏　運動疲勞後の循環系統恢復に就ての二三藥物學的實驗に就て（京大醫學部紀要 vol.XIII Fasc. V. 1931.）
醫學博士　太田正雄氏　日米對抗水上競技選手の榮養問題に就て

包裝　粉末 30瓦 ¥1.40（醫事公論第1001號）液劑 100瓦 ¥1.75
錠劑 100瓦 ¥2.40　[illegible] 50瓦 ¥1.75
其他大盆入各種　詳細說明書進呈

東京市日本橋區室町　三共株式會社

いつまでも若さを保つ

資生堂クレモリン

皮膚若返りの基礎クリーム！

浸透性が强く、而も吸收速かなれば皮膚を柔軟にし且つ、新陳代謝を旺盛ならしめ、皺を伸し、皮膚を內部から根本的に改造します。

お化粧用として――
荒れを防ぎ、お肌を艶美にし、白粉のツキ、ノビを佳くす

藥用として――
輕微なる火傷、凍傷、ヒビ、アカギレ其他ニキビ吹出物等に塗擦する時は治療を速め皮膚の新生を促します

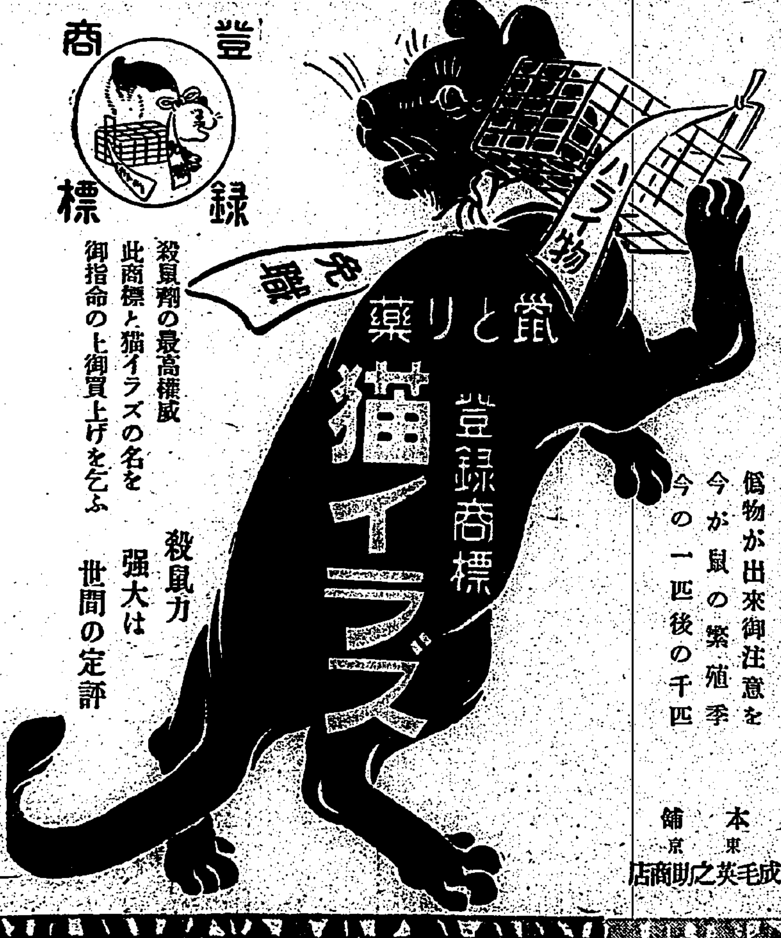
0.30
0.50

東京・銀座
資生堂

登錄商標

殺鼠劑の最高權威
此商標と猫イラズの名を御指命の上御買上げを乞ふ

殺鼠力强大は世間の定評


免職
ハライ物
鼠とり藥
登錄商標
猫イラズ

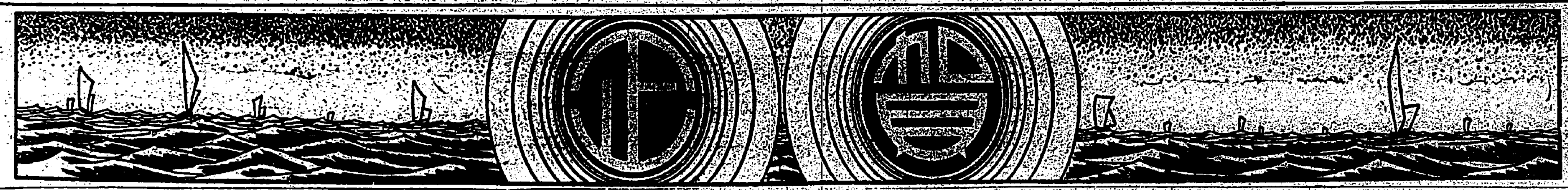
僞物が出來御注意を
今が鼠の繁殖季
今の一匹後の千匹

本舖　東京　成毛英之助商店

ヒゲタ醬油

おいしくて香りのよい然も極く少量で材料の特徵を生かして調味出來るのがヒゲタの誇りです德用な證據です

宮內省御用達
銚子醬油株式會社



幣原坦

謹賀新年
小寺新一

謹賀新年
高須時太郎

上野幸作

謹賀新年
高橋猪之助

北投庄
桐村純一
陳清地
洪金火

第三區煙草賣捌所
郭廷俊

陳振能

林熊光

東京火災保險株式會社
臺北駐在所
主任　合田憲衛
（臺北市北門町臺灣土地建物會社內　電話代表一七六五番）

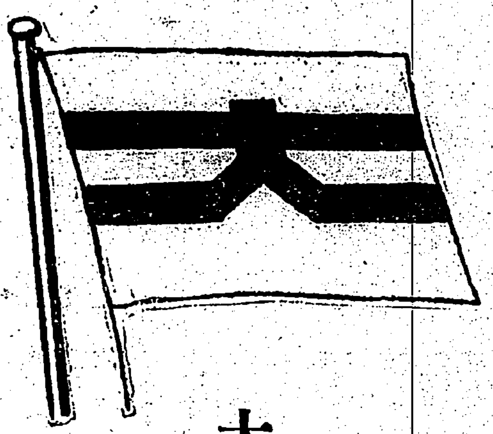
合資會社 南國公司
臺北州臺北市泉町二丁目十番地
電話一一一四番

臺北鐵道株式會社
臺北市新富町五丁目五〇
電話一九八番

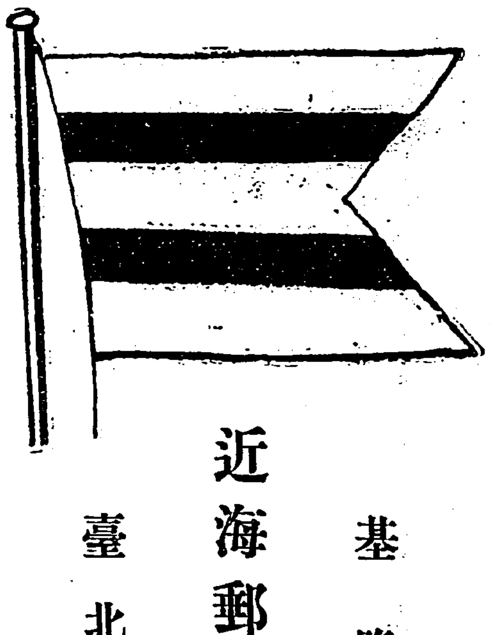
日本石油株式會社

臺灣鑛業所
臺灣製油所
臺北販賣店

臺北市本町一丁目四三番地
臺灣貯蓄銀行
代表番號電話三二二〇番



基隆支店
大阪商船株式會社
臺北出張所



基隆支店
近海郵船株式會社
臺北出張所

金瓜石鑛山株式會社

火災保險はどこへ
島內に本社があつて便利で取扱の親切な
大成火災海上保險株式會社
常務取締役　益子逞輔
常務取締役　林熊光

臺北市永樂町二丁目二十二番地
臺灣正米市場組合
電話代表番一七四〇番

臺灣米穀代行株式會社
電話代表番一七四〇番

臺灣臺北市北門町八番地
大倉商事株式會社
臺北出張所
電話長一〇五三番

臺灣煉瓦株式會社
臺北市表町二丁目
臺北工場　臺中工場
嘉義工場　高雄工場

臺灣土地建物株式會社
臺北、基隆、高雄、嘉義

兇蕃蟠踞の地 今は世界的の名勝

當時を思へば感慨深い

古藤齋助

タロコ峽禮讃

「タロコ」が天下に紹介せらるるや觀光客の日程中には必ず觀タロコはその重要なる一つに舉げらるるやうとして居る、今や東部の勝を誇る臺灣最初の靈域の地としてタロコに憧れを持つ人が少くなくなつた事はタロコの風景が如何に絶勝し如何に雄大なるかを物語る所以である、然しその「タロコ」が今日に至る迄の歴史その生れ出るまでの惱みを考へる時そこには誠に感慨深きものがある、それは「タロコ」が曾て蕃地帯として足一歩も踏込む事の出來なかつた處であつたからである、此の「タロコ」が佐久間總督時代の討蕃事業として平定されたのは大正三年であるが、余は其の討伐直前「タッキリ」今の新城に駐在して居たことがある、元來「タロコ」蕃は約七千人の勢力を有し一般タロコ峽入口に據する「ハロク」社には「タロコ」蕃の

總頭目

として頑強化頸なき「ハロクナウイ」が蟠居して全勢力を指揮して居た、余は此彼れ「ハロク」と會見し色々と話した事があるが彼れが一度頭を振つたらなか〳〵聞かない頑固者であつた、當時タッキリまで敷かれて居た隘勇線はその頃木瓜部落や下野蕃部落から巧に蕃人を警戒して蕃水を飲む危險を感じつつ架設したものであるが、之れを余に平和前進へ訴へて居るのである、その平和前進終了後間もない時である、或日「ハロク」は蕃人數百名を引連れ物々しい装備をして余の駐在地タッキリ駐在所の隘勇線門にやつて來て余に會見を申込んだ、さては何か異變が起つた事と緊張しつつ居合せの警備員を引連れて隘門に行つて見ると彼れ「ハロク」は頗る激昂した面持ちで

何故隘勇線に電氣を通つたか、日本が吾々と約束したのは夜だけで晝は電氣を通さないことではなかつたか、それに約束を破り晝間まで電氣を送るから兇の蕃丁が犬が感電死したではないか之れを日本は如何するか

と彼はいきなり立ち上り激怒の餘勢は腰間の蕃刀を鋭鋒を以つて突いて來た、其の形相實に

物凄い

ものがあつた

余はその時靜かに彼れをなだめすかした上

蕃間決定したのは日本が悪いのではない、其原因は汝等蕃人にある汝等との約束は汝等の蕃丁中に頭目者のない限り蕃間の決定はしない、然し汝等の蕃丁が多い充分その取締を徹底しなければ蕃間決定も止むを得ぬ事になるかも知れぬと申渡してある然るに汝等の蕃丁は警備線に無斷入じて警備員の米や煙草を強奪し不都合をするものがあるではないか、汝等は之を如何するか、日本も實は已むを得ず昨日から決定したのである

と話したのであるが彼れは恥として聞き入れる様子がないのみか形勢は益々硬化しさうに見えたので余はこんな多數の蕃丁の居る前で說得しては頗る不利と考へたので[illegible]になだめて彼を監督所に伴ひ行くに如かずと勸めた所彼れは拒絶するかと思ひの外蕃丁二、三名を連れて悠々とやつて來たのを幸ひ色々說諭して遂に彼を承服せしめたことがある、其頃タロコ蕃の勢ひと云つては全く火したもので當時蕃族の駐在所や分遣所に六連發のレミントン銃を擔いだ蕃自由に出入して物品を持つて行つたり、何か云ふとすぐ蕃刀に手を掛けて

首を切る

眞似をしたり、或は蛇をかけるなど其傲慢振りは實に切齒扼腕に堪へなかつたのであるが、特にタロコ大討伐を眼前に控へての大事の前の小事である、警備員は兎も角も忍び難きを忍ぶのが現在の吾々の職責である、萬一討伐前に於て事端でも惹き起したら總督府討蕃計畫に大支障を來すものである事を戒めて隱忍自重したものであつた、斯様な事は當時の一例に過ぎないが今と思ひ比べて實に感慨深いものがある、其後間もなくハロクナウイこそ觀念したが一般蕃人は善良な本性に立戻り今は全島の蕃族中に於て最も進化の著しい部落を造つて居る、そして蕃地に秘められて居たタロコ峽は今や世界の絶勝地として進出しやうとして居る、昭和八年のタロコ峽、それは正に多くの觀光客を吸入し能く擁護して他から飛であらう、そして彼れの持つ偉大な靈氣は能く人の俗腸を洗ひ一掃するに吝でないだらう（終）

溪谷美―仙寰橋附近―

タロコの横顔

花蓮港街長　宮崎末彦

◇新年を迎へて爽氣新たに飛躍を舉げつつ今や日本の有する世界的勝地と謳はれフォルモサの景勝を內外に紹介しつつある我花蓮港の國立公園候補地大タロコの横顔を偲び其前途を祝福したい

◇佐久間總督の樹てられた討蕃五ケ年計畫の第五年目即ち大正三年五月軍隊警察に依つて東西より挾擊以て帰順の大討伐行動は內外タロコ八十餘社に向つて行はれた元來タロコの勢力はタロコあるが爲めの生蕃でもあり蕃地でもあるかの感があつた

◇警察二萬を動かし總督自ら陣頭に馬を進め幾多の犠牲と莫大なる困苦缺乏に依つて日出度平定し茲にタロコ二十餘萬町歩に亘る世界の絶景が初めて世に出る第一日が到來した譯である

◇太平洋？奇蹟島？何れが先に出來たかは知らないが更に內地島內に深く秘め默々として語らざること開闢以來幾千年全く神秘と謎に擁護せられ他日の飛躍を宿して成長しつつあつたかの感がある

◇去る昭和二年臺灣日日新報社の企てに依り一躍八景の一に選へらるるや其豪壯雄偉なる渓谷の優越なる其眺望は一躍他の追從を許さない國立公園候補地の標準となり蕃界の爲め萬丈の氣を吐いて居る

◇我々は針小棒大風呂敷を構へて徒らに宣傳を敢くものではない、斯界の權威者は勿論知名の文人墨客政治家の推稱措かざるが既に此絶景を在任者のみが私すべきものでは斷じてない廣く宇內に紹介すべき義務の下にその偉觀を擴いた次第であり切に大方の來遊を待つ

何が最も必要か

蘭陽三郡守は語る

非常時日本の一九三三年の春を迎へ蘭陽地方民は國民的自覺の以下に結論と發展との意氣に燃えてゐる蘭陽の三郡守は蘭陽地方の發展及び現在何を最も必要とするかについて抱負の一端を左の如く述べてゐる

宜蘭市制には 先づ第一に 街民の自覺

横山宜蘭郡守

宜蘭の本年度計畫のうちで特別事業としてみられるのは頭圍非大溪沿岸に漁船の避難港をつくることで、築港費七萬一千圓、これは農漁村の匡救土木事業となるものですから、大里、大溪の農漁業者二千戸に對しかなりの潤ひを來すでせう、それから宜蘭蘇澳間の十米道路もありますが本年の分としては宜蘭濁水溪までやればよく、その先は羅東郡次で蘇澳と郡側に州費と地方民の努力寄附と相俟つて道路の改修が行はれるはずです、次に街庄の併合も必要だが、第一には街民の自覺だネよくいふことだが人心の和と經濟更新が市制の施かれる根本要素だと思ふ、今年の十月は全島產業大會で宜蘭も大に賑ふでせうが、それまでに街の體裁をも少し整備しておいてやがて市制への好印象を與へるやうにしたいと思ふ

蘇澳の築港

甲木蘇澳郡守

蘇澳は何といつても築港だネ、總督府から技師が來て今年から蘇澳港の調査にとりかかるはずになつてをり、さうなるとみじめな見栄どきに蘇澳は景氣づくに違ひない、一體蘭陽の地に物があるのか、築港の必要がどこにあるか、なんて一部の見方も世間にあるやうだが、今でも二千萬圓の年產額があり築港が出來たとなればそれによつて富源が開發されて來るにきまつてをるだから私は高雄の淺野セメントの出張所長近藤氏へ手紙をあげて蘇澳に工場を建てるつもりか、何うかと問合せたら何れ專門が來た、が併し何にも淺野でなくてもいい、淺野は殆ど權利を放棄してゐる状態にあるから誰でもつまり淺野の向ふを張るくらゐの意氣のある企業家であれば、私は援助を惜しまぬ、斯の如く蘇澳には富源はいくらでもあり、國家的事業として大資本を要するこれらの富源は皆な蘇澳築港が先決問題にしてゐるのだから世間もこの點を考へて貰ひたいものである

教育が第一

梅谷羅東郡守

私の考では教育が第一だと思ふ國民精神だネ、これが出來てゐなけりや產業も經濟も何んにもならん、街庄財政の半分は教育費で國分金がかかつてゐるが其割合に國民精神ができてをらず即ち公學校は亡びます、ここが根本だらうと思ふ、今迄の教育は餘りに形式的でなかつたか、あんなに立派な校舍なんか要りませんよ、バラックでもいい、それから優秀な先生が一校に二、三名あれば澤山だ、つまり經費を省くところは省いて要るところにはうんと金をかける、次に考へなければならんことは內地人の自己反省だ、本島人に對し陛下の赤子である事をもつと認識しなくてはならぬと思ふ、私は同化は必ず出來ると思ふ、またでかさずにアおかれない、夫につけても同化だ、通譯附の話なんか私は不愉快でたまらん、もつともつと國語に力を入れなくては駄目だ

2593の 蘭陽を彩る 特色ある人々

―感じたまま、見たまま―

二五九三年の蘭陽を彩る名士、實業家は西郡宜蘭をはじめ、三郡下に夥り相當の數にのぼるが、其中でも、何にかの特色を持つてる人々について感じたまま、見たままの所謂漫談を試みてみやう

上瀧宜蘭醫院長

上瀧さんは極度の近眼で五度、片つ方の眼が殆んど入眼のやうに全く視力がないさうだ、それで自分でやることが出來ないけれど野球郷土のニック・ネームのある程の野球通・麻雀は支那の本場仕込、玉突きも堂に入つたもの、碁、將棋もやり、文學物は大抵讀んでをり「醫者よりも文學者になればよかつた」といふ

呉宜蘭信組組合長

呉君はとつて三十四歳、長身、能辯、國語、國文のうまいこと先づ宜蘭の第一人者、或るとき「この文章はとてもうまいネ、あの人に書いて貰つたのか」「何ん失禮な、私が書いたんですよ……」むきになつたが、斯んな風にトリックにかけないと容易に本音を吐かない呉君である

中山齒科醫師

本社の蘭陽の懸賞歌にレッド・ジヤスミンの關五ケ年分とメモを出して好評を博した中山君は碁にかけても有名な數寄者で、蓄音器ばかりも三十本、商賣柄とはいへ手先の器用な中山君は盆栽の大愛好家元であり今はやらないが昔は鐵砲においても自他共に認める名人であつた

谷專賣出張所長

酒の席ではこん〳〵と盡きないエロ文學の講釋をはじめて、聴衆も腹をかかへて笑ひこけるたたまらなくなるほど話に入つたものだが平素の谷さんはとても眞面目で、子煩惱な父ちやんでおまけに歌人である、近詠の一首

雨ふれる夜庭に來て鳴く虫のあり二夜つづきて我は聞きたる

林仁和醫院長

林君は宜蘭郡街庄長であつたが何か氣に喰はぬことがあつたとかで辭表を叩きつけてやめた位でどこか、意氣を重ずる風があり、長年にわたり問題であつた林氏家聯の解決案は金一千圓也をポンと投げ出して済まし込んでゐる態度は誰でもたやすく出來る態度ぢやない

砂田隣太郎君

製材工場と住宅を羅東に持つが身は宜蘭の消防組長、商工會長、街協議會員で、景氣のよいときは隨分驕らしたもの、今は三千人の人夫を督勵して宜蘭濁水工事に餘念もないが、工場には最新式の四フイト半インチの製材機を据付けて捲土重來の意氣盛んである

本多剛君

本多さんの歴史煙草蒐集はかなり古く、各國に渉れたものを持つてをり、園と菊にかけては他の追從をゆるさず「血色もよく、太りましたネ」といふと「煙草をやめてから太りました、葉卷もパイプもみんな人にくれて了つて絶對にのみません……」歴史煙草が煙草をやめた話をする

下村謙吉君

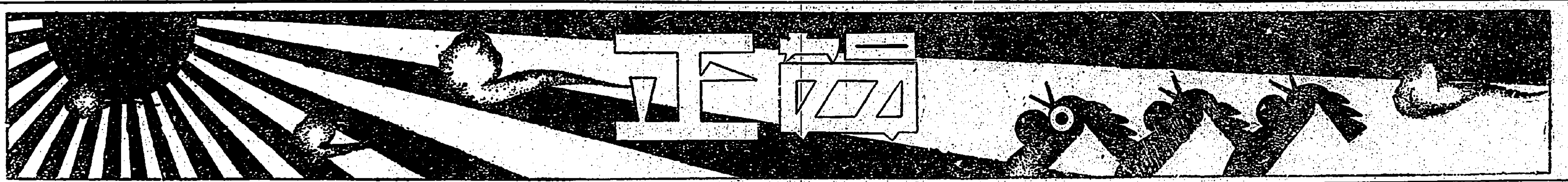
羅東郡內のバガス工業試驗所の主任技師である下村さんは、十年一日のごとく研究に没頭し、新品の製出しにバガスの聲價をあげやうとする努力家である、昭和の支配人古賀さんと共に山羅車役の兩巨頭である

齋藤郵便局長

蘇澳にゐること二十年、蘇澳水に一日も缺かさず浴する齋藤さんは小止庄長と共に有名である

游兆圭君

蘇澳信組の專務である游さんは蘇澳きつての財產家游萬福君を厳父と、一角の理財家だがなか〳〵の蓄財家で[illegible]



石炭採掘及販賣
倪蔣懷
基隆市外八堵　電話四三一番

基隆市協議會員
山之內小藤二
古山昌雄
河野俊雄
林準二
明比實平
辰巳宗太郎
原田斧太郎
地主三郎
吉原多三郎
大倉一良
田尻與八郎
王塗盛
謝國器
横井鋼一
林應時
葉水壽
何鵬
顏欽賢
松浦新平
陳杰

江平時計店　基隆市義重町通り　時計眼鏡　電話七〇八番
森園周藏　印刷業　電話四六〇番
井上金物店　金物商　電話四四九番
蓬萊水產株式會社　基隆市日新町三丁目六番地　電話九八四一番
破魔庄司　自由亭　基隆市日新町一丁目三番地　電話三五九番
日新金物店　營業所　基隆市元町二ノ五　電話五四、九九三番
和洋料理　高砂公園綠庵　基隆市　電話七三一番
內地土產　平和堂　基隆市新店町　電話四六五番
石井鐵工場　基隆市　張井
江源茂藥行　基隆市義重町二ノ八七　江瑞英
金裕德商店　基隆市　電話八八九番
凌峯閣御料理　基隆市　電話六一八番
有馬寫眞館　基隆市義重町一ノ十五　電話七六九番
有限責任基隆倉庫信用利用組合　基隆市元町二丁目　電話四九九番
煙火爆竹　岡本商店　基隆市義重町一丁目六十三番地

山ヨ運送株式會社　基隆港　代表取締役 柏原米太郎　代表取締役 本池才一郎　電話長一七一八、一五七八、二八九六
基隆鹽魚組
田中清　金瓜石
後宮末男　金瓜石
金瓜石鑛山株式會社勞力請負　黃仁祥　瑞芳庄金瓜石
溪山本店　瑞芳庄金瓜石
翁山英　瑞芳庄九份
臺陽鑛業株式會社　九份調進所
野澤理髮店　瑞芳庄金瓜石
詹雨田　瑞芳庄金瓜石
許金財　金瓜石
石炭採掘販賣　年產三萬噸　東和採炭公司　瑞芳驛前　代表者 沖亮吉　電話一六番
石炭商　合資會社東和商行　瑞芳庄　電話四番
瑞芳信用組合　基隆郡瑞芳庄
瑞生公司　瑞芳驛前　電話八番
臺灣運輸業組合　瑞芳作業所　瑞芳驛構內
臺灣運輸業組合　石底作業所　石底驛構內
運送店　猴硐驛前　余[illegible]
雙溪館　頂雙溪驛前　鶴田ミドリ　電話九番
臺灣運輸業組合　菁桐作業所　菁桐坑驛構內
臺灣運輸業組合　頂雙溪作業所　頂雙溪驛構內
公醫　黃烟篆
雙溪醫院　公醫　張信振
春山醫院　臺陽礦業株式會社菁桐坑醫務室
瑞芳郵便局　佐伯鄉介

基隆作業服販賣組合 納品部　諸官衙御用達
服部支店　電話四六五番
沖元商店
丸玉商行　電話四九四番
藤尾商店　電話一〇〇九番
白土商店　電話四六九番
鈴木商店　電話三九七番
金瓜石郵便局　寺師爲內
雙溪郵便局　村田爲廣
平溪庄役場　[illegible]

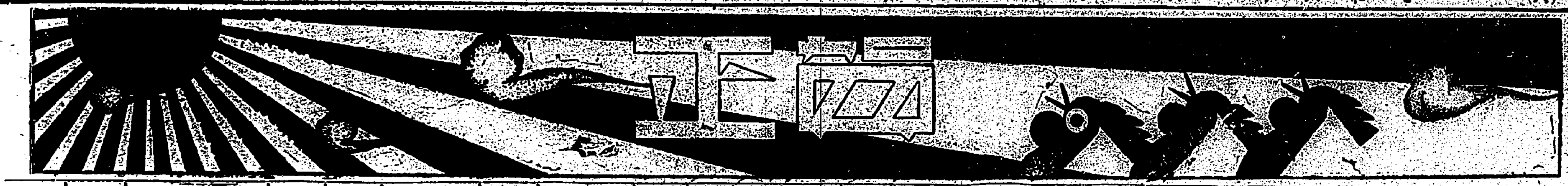
瑞芳庄協議會員
庄長　宮川三二
助役　劉尚
會計役　劉港
鵜飼義成　翁山英　佐伯鄉介　沖亮吉　黃仁祥　王振東　鄭憩趁　塚崎久一郎　林德孚
黃水池　簡松霖　顏現樹　杉山秀　劉明　美座時習　吉永勘二郎　黃烟篆

振山金鑛部　瑞芳庄大粗坑
土木請負　謝赤皮　金瓜石
土木請負　游阿秋　金瓜石
桃園郡大園庄役場　職員一同
桃園郡　龜山庄役場
蘆竹庄役場　庄長 游貽德　助役 曾明　會計役 陳永東　外職員一同
八塊庄役場　庄長 葉泉清　助役 吳有全　外職員一同
盛進商店　桃園街　李進
忠記商店　桃園街　陳朝忠
合源自動車株式會社　平鎮驛前　取締役 王溪圳

彰化街長　李崇禮
同助役　植田勇次郎
同會計役　赤塚音次郎

彰化街協議會員（イロハ順）
呂世明　呂錦清　針原幸次郎　陳英方　張日昌　林有信　林九　林江成　多賀國年
中口金作　山崎昇吉　山口德治　巫金山　吳銀花　黃衡漢　吳大秋　吳頭　許炳雲

彰化郡役所　佐藤房吉
臺中州彰化郡福興信用組合　組合長理事　潘邦治



臺北市大正町一ノ一七

林熊徵

謹賀新年

張園

臺北市宮前町八八　電話二五三五番

臺北市錦町

三合成製菓商會

電話一五五四番　店主 [illegible]　振替臺灣五三七番

臺灣料理

江山樓

臺北　電話一九五五・三一六三番

中華料理
廣東料理

臺北市日新町一

蓬萊閣

電話六二・七四九・一三七五番

電話を御利用下さい

會席 臺灣料理（配達迅速）

臺北市新起町二丁目

新起樓料理店

電話三千十番

臺北市日新町二丁目

文聲曲盤公司

三村自轉車

臺北市太平町五ノ三　三村臺灣販賣部

美術紙函 丸函[illegible] 折リ式切 其他各種 製造販賣

鄭榮發兄弟紙函商會

臺北市太平町二派出所隣

電話三八一一番

發記茶行

臺北市太平町三丁目　電話一三五二番

臺北州自動車營業組合

明石町　電話一四〇五番

陸軍偕行社特約店 [illegible]指定

菊池順高等洋服店

臺北市新榮町五丁目一五　電話三五五二番

諸紙文房具 活版印刷 [illegible] 諸官公衙御用達

土木建築請負

川田商店

店主 川田三郎

臺北市北門町（臺北州廳前）　電話一六六四番　振替臺灣二一一九番

新起町一丁目

山本洋家具店

電話三六九七番

羅紗商 綿製品

本田犒商店

臺北市京町一　電話二一七七番

臺北市榮町一丁目七番地

海野商店

電話 三一八 二七二〇番

臺北市佐久間町二ノ角

スズキ自動車商會

電話七二一番

和洋御菓子

臺北市兒玉町二ノ一一

三好堂

電話三〇六一番

匯兌商
上海 香港 廈門 福州 [illegible]

美東公司

臺北市太平町五丁目　電話三〇二三番

和洋指物商

新嘉頴號

店主 李[illegible]木

臺北市日新町一ノ三〇四番地　電話四三八五番

臺北市太平町三丁目九十四番地

林代書事務所

司法 行政　林文運　林紅嬰

土木建築請負業

協志商會 **林焜灶**

臺北市綠町一　電話一八〇一番

臺北市本町四丁目五番地

三菱商事株式會社臺北支店

電話
五九四番（肥料係 鐵產係用）
一、四一九番（金物係 機械係用）
一、七七五番（機械金物係 雜貨係用）
二、五一一番（鐵產係 肥料係用）
三、四二三番（支店長 會計係 庶務係 肥料係 鐵產係用）

臺北市明石町二丁目三番地

赤司鑛業株式會社

電話五二六番

臺北市下奎府町四ノ六一

馥泉製氷株式會社

社長 邱木　電話一八一〇番

臺灣劇場株式會社

榮座

電話 一五一 一三〇五番

臺北市西門町三ノ八

芳乃館

館主 永戸トモ

電話七六〇番

株式會社日本勸業銀行臺北支店

㊣

政岡運送店

政岡幸兵衛

臺北市本町四丁目　電話二五五番

胃腸の妙薬

デルビー

風の妙藥

ダンヌン

臺北　武田信生堂

Ford

臺灣全島フオード特約販賣店

ダンロツプタイヤ日本總代理店

日本自動車株式會社臺北出張所

臺北市上奎府町二丁目二十八番地（臺北裏驛前）　電話三八七六番

株式會社臺灣銀行

（臺北）

支店所在地

臺灣
基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南
高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投
屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店所在地

支那
上海　福州　廈門　汕頭
香港　廣東　新嘉坡　スラバヤ

其他
スマラン　バタビヤ　孟買　倫敦
紐育

內地
東京　神戸　大阪　横濱

リーグの覇者法政敗る

觀衆待望の中に
法政對鐵の戰端開かる
人で埋められたスタンド

一月二日！此日こそ法政對鐵、鐵團が野球技に蘊蓄を傾じての會戰なのだ、一は東都リーグの覇者たる貫祿を見せつつCBを粉碎し、餘威を持して此の一戰に臨まんとすれば、鐵は本島球界の剛雄の名に恥ざる決戰を挑み、法政軍に一泡吹かせんものと之亦異常の興奮だ、旅館昇堂に新春元旦の安らかな夢から醒めた法政選手は藤田監督を中心に一室に集ひレコードの小唄などに興じながら刻々迫る試合開始を前に餘裕を見せてゐる、圓山球場の空は曇り勝ち乍ら薄陽さへ時折さして絶好の野球日和、外野の芝生も一段と生色を彩らしてゐる、遠くスコアーボールドの側に立てられたマストには國旗と本社旗が微風をうけて翻つてゐる、正午既にスタンドは埋め盡され人の波が搖らいでゐる、正午法政軍は自動車に分乘旅館を發し球場に到着藤田監督を先頭に入場すれば期せずしてスタンドからは拍手の交響樂が奏ぜられる、續て渡邊監督を先頭に鐵選手も拍手に迎へられて入場し、茲に兩軍のフリーバッテングが初まつた、法政の島、武田、成田など相變らず鮮い當りだ、鐵の川島、三山、内山などもいい當りで外野を襲いてゐる、續て兩軍の守備練習が初まる、鮮かなフイルデイングに滿場の大觀衆は靜まりた如く暫し無言だ、兩軍のメムバーが發表される、投手は伊藤兄、倉の本壘死守内野陣は原口、稻田、中村、渡邊の堅陣、外野は田子、武田、成田の不動の構へだ、鐵のマウンドを守るは老巧縄岡だ、捕手は强剛の木村を起用し一壘に渡邊、二壘永田、三壘三山、遊擊川島と配し外野は内山、才木、田子の構へである、靜寂を破つた拍手……ベンチに氣を昂らした兩軍選手が本壘を挾んで挨拶を交した、マスクを被つた球審藤田省三氏の右手があがつた『プレーボール』時に午後一時四十分、壘審大澤、石井、藤島の三氏先攻は法政……第一打者武田はボックスに入つた、球場全體を蔽ふた壯烈な氣魄ひの火蓋は今や切られたのだ

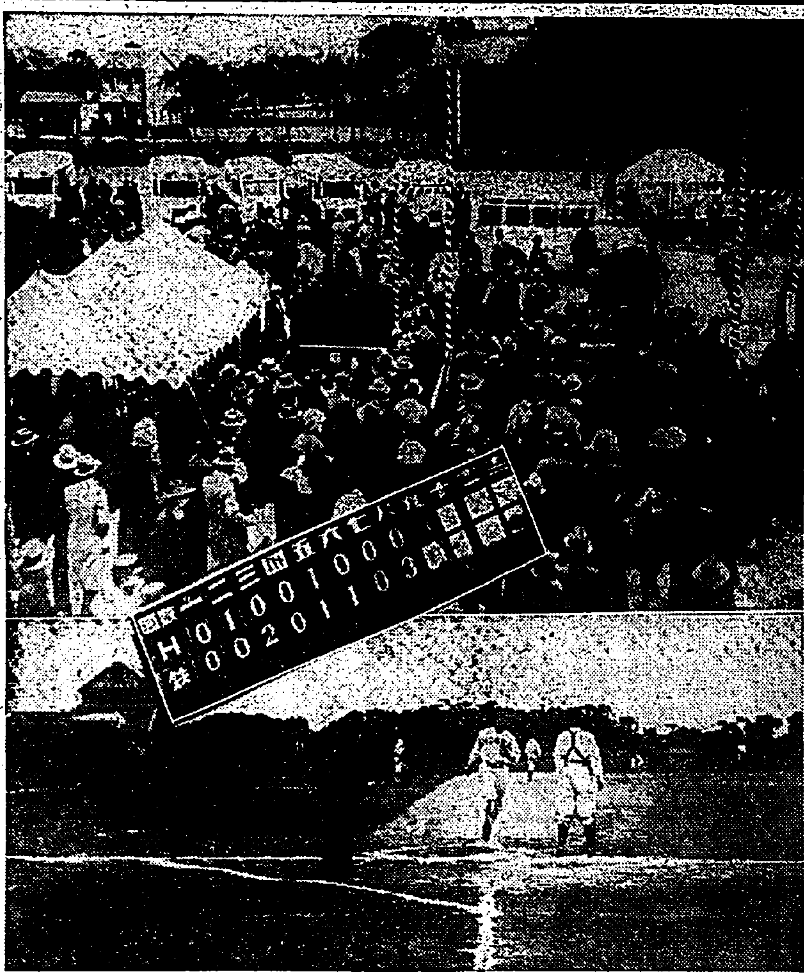
鐵、縄岡投手の投球に
法政の打陣威力を失ふ
最後の猛攻撃奏效せず

觀衆の眼が片唾をのんで試合の進展を注視するとき一羽の鷹が球場の上を舞つてゐる、鐵の優勝成るか、法政軍東都リーグの覇者たる貫祿を把持するか鐵縄岡投手の投球は往く所可ならざるなく近來にない絶妙のものだ

法政が　誇る武田、稻田、原口、成田、田子の打陣もその前には威力を失つた點て加へて第三回稻田の失策に初まつた法政内外野の致命的エラーは九つを數へ而もそれがタイムリーのものとなりけふの一戰に敗朗の悲目を見る結果となつた法政劉投手の快球は直球にカーヴにコントロールに乏しく第八回藝を木村、永田、内山、才木などの下位打者に連續安打されるに至つて試合遂に決定的のものとなり法政軍最後の必死的攻擊も效なく『七對二』茲に萬事休し

敗戰の　憂を呑むに至つた、鐵團は傳統の健棒を辱めず守備陣また近來にない鐵壁の固さで法政軍の乘ずる隙を與へず堂々東都六大學リーグの覇者法政を破り去つた、時に午後三時十七分高らかに吹奏された、鐵團のエールが球場に流れるとき藤田監督以下二十餘の法政選手は黙々として第二回戰に堂々雪辱をなす決意を示す如く引揚げた戰野を離つた球場は今や靜かに眠つて

三日の　法政對CB第二回戰を迎へんとしてゐる戰ひの前の靜けさだ



法政對鐵のきのふの試合　寫眞上から（一）觀衆の雜沓（二）スコアーボールド（三）二回表倉の内野安打で生還の伊藤（兄）

試合經過

第一回（法政）武田ストレートの四球に浴し捕手ハンブルする際に二盜したが稻田の遊飛で二三壘間に挾殺されその間に稻田二壘に進む、原口の三飛で稻田二三間に挾まれ、三山タッチしてアウト、原口二盜、成田四球に二死二走者あつたが田子遊飛して成田二壘に封殺さる（鐵）才木中飛後川島二飛失に生き、三山遊越直球安打すれば川島快走三壘を稱ひ、左翼手三壘に送球する間に三山二壘に進み、强打者渡邊拍手に送られてボックスに立つたが、スリーストライク目のアウ、ドロを空振して退き、縄岡も三振に打取られて好機を逸す（兩軍零）

第二回（法政）伊藤兄三壘左を拔く二壘打に出で、笹尾の三壘側犧牲バントに伊藤三進すれば倉遊擊左に强襲安打を放つて伊藤（兄）生還　倉投手牽制球に誘つて二壘に走つたがアウトとなり、渡邊四球に出でながら又も縄岡に誘られて二壘前に殺さる（鐵）田子右飛、木村一邪飛、永田右飛（法政一點）

第三回（法政）武田二飛、稻田遊飛、原口三振、老功縄岡絶好のコントロールをもつてよく三者を凡退せしむ（鐵）内山右飛、才木二壘寄りに遊飛加を放てば稻田失して生き、川島一壘手右を襲く痛烈安打を放つて走者一二壘に歩く、三山右前ヒットすれば中堅の稻田本壘に暴投して才木、川島の二者生還、三山三壘を占む渡邊三山とのスクイズを惜しくもファウルして後三振に退き縄岡二飛に止んだが二安打と稻田の二失に二點を入れて一點をリードす（法政零、鐵二點）

第四回（法政）成田死球に出で二盜に成功し田子の遊飛で一死三壘を占めたが伊藤兄一飛、笹尾中飛して入らず（鐵）田子三振木村三振後永田遊飛一失に出れば内山一二壘間を拔き右翼手右にハンブルする間に内山二壘を占め永田一擧本壘を衝いたが右翼手成田の好投に本壘寸前に刺さる

第五回　二對一で鐵リードし試合は白熱化されて球場騷然たるうちに後半戰に入る（法政）倉三[illegible]投に一擧三壘を得、渡邊の中飛で生還、武田左飛、稻田遊擊頭上を拔くと思はるる好打を放つたが川島よくシングルに摑む（鐵）同點となり伊藤兄退き劉プレートに立つ）才木第一球を輕く足　死球を受けて出で川島の投前バントに二壘に送らる當り屋の三山三本目、安打を三遊間に放てば左翼手本壘に暴投して球は轉々法政ベンチに達する間に才木悠々生還、三山三壘に殺到しオーバーランしてアウト、渡邊左翼に痛打したが野手の眞正面を衝いて捕られる、鐵一點を入れて又リードす（兩軍一點）

第六回（法政）原口三飛、成田中飛後田子右中間に三壘打して出たが伊藤遊飛（鐵）縄岡一飛、田子二飛、木村遊飛失策で一壘二進し永田の遊飛後逸とバックアップした左翼手のハンブルに木村生還、永田二壘に進んだが内山右飛計二點のリードとなる（鐵一點）

第七回（法政）笹尾遊飛、倉ニヤボールを逸げそこねて一飛、渡邊投飛で無爲（鐵）才木左飛、川島二飛、三山投手グラブを彈く安打に出たが渡邊大きく中飛し武田飼きわに之を摑んでアウト（兩軍零）

第八回（法政）武田左前安打したが稻田の二直球で一壘に併殺されて二死後原口右翼越しの三壘打を愛飛げしたが成田遊邪して入らず（鐵）縄岡右飛、田子遊飛で二死後木村三遊間に安打し永田の三壘强襲安打と三壘手の二壘高投に木村三進し内山の一壘右を拔く二壘打に木村、永田生還、才木中前テキサスに内山生還、川島中飛に終つたが三點を加へて計五點をリードす（鐵三點）

第九回（法政）五點のリードを受けて法政は最後の攻擊に入つたが田子三飛、劉に代るP・H矢野中前安打し笹尾左飛に後二盜成り倉に代るP・H森谷四球を得たが渡邊二飛して無爲、七A對二で鐵團に凱歌揚る

終了　三時十七分
試合時間　一時間三十七分
二壘打　内山、伊藤兄
三壘打　原口、田子
併殺　永田―渡邊

シト	法政（先）	打	得	安	犧	盜	三	四	殘	失
8	武田	3	0	1	0	0	0	1	0	0
4	稻田	4	0	0	0	0	0	1	0	3
3	原口	4	0	1	0	1	1	0	0	1
9	成田	2	0	0	0	1	0	2	0	1
7	田子	4	0	1	0	0	0	0	2	1
1	伊藤（兄）	2	1	1	0	0	0	0	0	0
1	劉	1	0	0	0	0	0	0	0	1
PH	矢野	1	0	1	0	1	0	0	0	0
6	笹尾	3	0	0	1	0	0	0	2	0
2	倉	3	1	1	0	0	0	0	0	1
PH	森谷	0	0	0	0	0	0	1	1	0
5	渡邊	3	0	0	0	0	0	1	0	1
		30	2	6	1	3	1	5	6	10

シト	鐵團	打	得	安	犧	盜	三	四	殘	失
8	才木	4	2	1	0	0	0	1	1	0
6	川島	4	1	1	1	0	0	0	1	0
5	三山	4	0	4	0	0	0	0	3	1
3	渡邊	4	0	0	0	0	2	0	0	0
1	縄岡	4	0	0	0	0	1	0	0	0
9	田子	4	0	0	0	0	1	0	0	0
2	木村	4	2	1	0	0	1	0	0	0
4	永田	4	1	1	0	0	0	0	1	0
7	内山	4	1	2	0	0	0	0	1	0
		36	7	10	1	0	5	1	7	1

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
鐵	0	0	2	0	1	1	0	3	A	7A
法政（先）	0	1	0	0	1	0	0	0	0	2

新人が老巧に
背負投げを喰つた
きのふの法政の敗因

けふの對鐵第一回戰に敗れた法政と堂々法政を破り去つた鐵との兩チームの構成要素を檢討すると法政が誇りとした内野の鐵壁は遊擊邦田、三壘久保の名手の不參で崩れ、外野に島の加らなかつたことが矢張り守備陣の一角を崩した結果となつた、新たに編成された新人連の内野陣は未だ若い、老巧曲者揃ひの古豪に位負けして新人が力を出し切らずに敗れた形ちだ守備陣が崩れれば攻擊陣も之と同じく新人連も之と同様であるが結局若い者の力が出ない裡に老功が立上がりざま上手に之を制してしまつた形だ、鐵縄岡投手の投球は恐らく來臺以來初めての好投振りでアウトコーナーの上下を衝く直球、鋭く大きく流れ込むアウトカーヴは武田、稻田、原口、成田、田子などの上位打者を制して輕く打討つた、鐵の勝利の殊勲者である、三番打者三山が伊藤、劉の兩投手から四本の安打を稱つて十割の打率を示したのも光つてゐたが守備では内野手が鐵にいい出來で僅かに三山の一暴投があつたばかりであつた、之に反して法政は第三回稻田の二飛トンネルに初まつたエラーは共同走者を三壘に送き三山の放つた右前安打を成田が稻田にリレーせるを後逸が重ねて本壘暴投といふエラーを演じ二點を獻じてしまつたに引續いて遊擊笹尾が一壘暴投ハンブルと二つのエラーを出し、原口、成田、田子などの失策は鐵出の因をなしたものであつた、伊藤兄の投球は比較的よかつたが四回二對一と鐵のリードせるとき劉と交代となつた、劉は威力なきアンダースローの直球に威力なくカーヴもコントロールに乏しかつた、鐵の木村、永田、内山、才木などの老功が第八回によく選球して好球を見逃さず打つて安打と試合を決定的としたのは打擊に眞面目を見せたものだと云へる、兎も角法政は新人が多い故で固くなつてゐたやうだ、然し此の新人連の覇氣が一丸となつて爆發したら破竹の勢となることは豫期し得る所で第二回戰こそ刮目して待つべきだ

BC對政法
けふは二回戰
必ず勝つとCBの堅い決意

緊張を突切つた法政對CB第一回戰に於るCB選手一同も結果の意外にただ啞然としてゐるが、敗戰の夜内田監督は選手一同を自宅に集め三日の第二回戰に對する對策に耽つたと聞くが元旦の祝宴も未だ醒め得ぬ第二日の法政對鐵戰には選手一同早くからネット裏に集合して緊張した面持で熱心に觀戰してゐた内田監督に、今日の決意を訊けば次の如く語る

一回戰にかたくなつてゐる所に第一回三點第二回四點と取られてどうもこうもならなかつた、あんな大きなスコアーで負けては從來の法政軍に對しても、ファンに對してもまことに申譯けがない

選手一同二回戰はきつと物にすると堅い決意を示してゐるから期待にそむかぬ緊つたゲームをすることが出來ると確信する

法政大學の
歡迎宴
校友會主催で

法政大學校友會臺北支部では二日午後六時半から鐵道ホテルに來征中の母校野球部選手一行を招待して歡迎宴を催した、定刻前選手一行は藤田監督に率ゐられて會場着、岡野校友會支部長の開宴の辭があつて開宴されたが歡談裡刻を移し母校のエールを合唱して午後八時半散會した

けふは薄曇り

正月二日は終日うす曇りで遂に太陽は姿を現はさず、最低華氏五十度（夜明け）最高華氏五十五度八（午後二時）で風冷たく大晦元旦と似たやうなものであつたが三日の天氣豫報は中部南部とも晴後曇り、北部地方は東の和風うす曇りと言ふ惡天候になつてゐる

臺灣神社の初詣で
昨年より三千餘人多い

元旦の島都は近年に珍らしい好晴氣を見せたインフレ景氣で市民は久し振りで陽氣な節を見せたが內外の醉蹤と景氣多く上下共に一層心を引締ねばならないと國家の安泰を祈る念熾烈で内臺人共に大晦日の夜中の十一時半から臺灣神社に押しかけ元日の夕方までの參拜者數は二萬人の多きを數へ昨年に比し約三千餘人多く非常な雜沓を呈した、恒例によつて元旦五時より歲旦祭を執行されたが特志家の參拜するもの多く非常に莊嚴だつた一方建功神社でも參拜者多く大晦日の夜中十二時半頃から詰めかけ元日の午後四時までの參拜者數は無慮一萬人の多きを數へた、建功神社では例年の如く元旦の零時半より大鳥居の前に篝火をたき大鼓を叩き元旦六時までには老幼の別なく各參拜者にそれ〳〵御神酒を授けたが何れも滿足の態だつた

臺灣神社の
元始祭
けさ八時から

臺灣神社では三日午前八時から元始祭祭典を執行ふが建功神社も同時刻から祭典を執行する、尚同祭典には供進使の參向はないが平塚長官は臺灣神社へ參拜の豫定である

妙齡のお孃さんに
特等箪笥が當籤
賑つた本社の福引

吉例本紙愛讀者優待開運福引は二日午前十時から開始されたが、定刻數時間前から芽出度い酉歲一ケ年の

運勢を　開かんものと押し寄せた讀者達は冷たい外氣にも頰を赤らかせながら、本社前から臺銀の板圍ゐにそうて、更に南門前から三線道路に及ぶ程の長蛇の列を作つて根氣よく待ちつくしてをり、福引開始と同時に、勇氣よく躍つて行つたが、しの福引の獲とて手に手に景品を抱いて、福引の速度よりも後から後と詰めかける讀者の方が遙に多く、長蛇の列は益々長きを增すばかりである、福引開始後僅かに五分にして可愛い當りの

十二歲　の中村ミチ子さんが四等を當て、運を開き、十時三十分には十三歲と言ふ腕白盛りの尾野五郎君が三等を拯たが、十時四十五分には十六歲の林適來君が三等十一時十分には十二歲の大稻守君が二等の大物、十一時十分には十五歲の木島アサヨさんが三等、十一時二十分には十二歲の林女三郎君が三等をひき當て、午後に入つてからは一時に十九歲の郭給勝君が三等を拯、一等の鹽時計は十五歲の小林艶君が一時四十八分に射止めるなど當年子供が歲でまま發現してゐるのも芽出度い限りである一等の好運を引當た小林艶君は一中の二年生であるが『三學期は優等で修業出來るぞ』などと縁起のいい言葉と、フラクシュのマグネシュームを

制服の　上に浴びせられて、喜びにはち切れさうな顏を綻かしてゐた、一方福引場ではお孃さんに連れられて、臺灣神社參拜のお土產を手にした小さなお嬢さんや、可愛い弟と手を握り合つてゐるお嬢さんが四等を引當て、モーニング姿の紳士が末等にテレるなど皮肉な場面も展開したが、本島人の男老若は、松の抽籤券で四等二つを當て、好運ぶりを示したところが、何時迄たつても特等の大簞笥を引當る者がなく、締切り時間は刻々とせまつて行くのに依然として大簞笥は正面に納まつてゐたが、締切りの僅か

三分前　の二時五十八分に束髮に結つた姉さんと、島田髷の妹さんの訪問着姿の二人姉妹が今讀者のめざしてゐる特等大簞笥を引當ててしまつた、姉さんは賀樂子さん、妹さんは早苗さんと言つて、專賣局煙草工場臺北工場勤務の末廣氏の孃さんで、倶に結婚適齡期に達した獨身の孃さんである、此の大當りにワーッと湧つた歡聲に混つて『お嫁入りの仕度が整ひましたネ』とか『今年中にお芽出度がありさうだぞ』などと、お祝ひやら半分やら冷かし分らぬ賑やかな聲が降つて來る結婚

適齡期　の二人姉妹は顏を赤らめるのも忘れて、ただニコニコと喜びにくづれてゐる、斯くして三時過ぎ福引場を閉したが二等迄の好運者は次の諸氏である

特等　臺北市兒玉町三の八　末廣早苗
一等　臺北市水道町一四　小林艶
二等　臺北市東門町九六　佐々木道雄方和泉慈郎
二等　臺北市昭町一二七　大稻守

『幸運』に
各地も賑ふ

基隆

【基隆電話】二日基隆に於ける福引日は薄曇り肌寒い風の吹く日であつたが前日の降雨名殘なくやんで支局前は定刻前より詰かける讀者で大賑ひ十時蓋開けするや早くも地町三の七松下郷さんが一等を引きあて家族總出で米俵をひつ擔いで躍り廻い て三等二等と續々大ものが現はれ十時四十分には中學生松田正君が特等をひきあてドット歡聲があがるかくて引續き午後三時迄大賑ひで無事終了した、因みに當日午前中の幸運者は左の通り

特等松田正、一等松下郷、二等林清圖、三等莊義臨、同松永ツル子、同栗田政男、同竹下滿三郎乙食、同郵便局電話試驗係

瑞芳

【瑞芳電話】基隆郡瑞芳庄に於ける三日の本社開運福引抽籤は午前十時から同庄長木本紙取次店に於て行はれた瑞芳區長、瑞芳庄長、高澄校長、其の他關係者多數立會の上抽籤を行ひ左記の如く當籤者を見た、當籤者は五日迄に賞品と引代へられたい

（一等）一七（二等）一一　一二一（三等）二二四　八〇　一〇五（四等）七八　一七四　八八　一二〇

中壢

【中壢電話】本社中壢取次店主催の中壢街に於ける讀者新年福引は二日午前十時より同取次店に於て宋街長、黃助役、警察部長立會の下に舉行されたが定刻前讀者は詰めかけて盛況を呈したが蓋を開けてより十五分にして一等柱時計は黃傳族氏の手にひきあてられ歡聲が湧く、次に二等三、四等は午前中に全部出たが當選者左の通り

一等黃傳族、二等莊垂禪、合藤江氏、三等中尾氏、同柿木、同黃振乾

臺中

【臺中電話】本社恒例の讀者優待新年福引は二日午前十時から臺中署の警察官立會の上で臺中支局に於て行はれたが臆に七時頃から支局前に殺到しうづ高い景品の山も見る〳〵内に讀者の手に渡り午後三時盛況裡に終了したが新年劈頭特等及び一等の幸運をひき當た人は左の如くである

特等臺中市若松町一の一五渡邊ノリ子、一等臺中市錦町四の四の鶴ミシン商會

嘉義

【嘉義電話】嘉義市に於ける本紙讀者優待新春の福引大會は二日午前十時より元町の嘉義木本紙取次店に於て開催されたが非常の人氣を呼び午後三時終了した福運者左の通り

特等嘉義郡水上庄水上三〇二頼知母、一等嘉義市元町二ノ二二四黃氣

臺南

【臺南電話】本社臺南支局では讀者の開運福引を二日午前十時より午後三時迄に支局で抽籤を行つたが開運の結果は次の幸運者を出した

特等病院共濟州別府登茂枝、一等臺灣新聞支局、二等臺町郵宮東、同州水利課張榮山、三等高砂町陳海珊外四點

高雄

【高雄電話】高雄に於ける恒例の本社讀者福引は二日午前十時から高雄支局で開始定刻前から支局前につめかけた多數の讀者は抽籤開始の鐘を合圖に我こそ本年の幸福をひきあてんと雪崩れを打つて殺到十時半には早くも一等が出たその幸運者は山下町谷宗三郎氏で景品の米俵を人力車に積んで大ニコ〳〵で引きあげ午後二時半には三十四銀行坂井一男氏が特等の幸運をひいて歡聲を浴び喜びに包まれてカメラに收まり午後四時盛況裡に終了した

屏東

【屏東電話】本社屏東取次店保安藥房では新年はじめての讀者福引を行つたが新州をかけ年末大賣出しのドサクサで一般に知れ渡らなかつたうらみはあつたがそれでも氣の早い讀者は朝來續々つめかけ午前九時中には早くも二等を同街鶴君がひき當て人氣を得た四等、五等續々出たが一等は午後三時半になつてもまだ引きあてる幸運者が現はれて來ない

花蓮港

【花蓮港電話】讀者優待福引は二日午前十時から中村取次店に於て行はれたが時間前から押しかけて午後三時締切迄押すな〳〵の賑ひであつたが抽籤の結果特等花蓮支廳西澤一等生蕃醫院二等木村會社登記同宮崎街長三等吉野村小前橋山代吉人華既公司兒務部野口四等臨伊藤外六名五等臨當籤外六名

本町福引券引換

臺北本町賣出會では年末賣出中の福引券引換期れの顧客に對し特に四日午前九時より正午まで本町引換場にて福引券の引換を再開すると

謹賀新年

北投温泉
御旅館　天狗庵
御家族連れにて御出下さい
電話一八番

新開業
温泉旅館　沂園
汴水周支店
（親切丁寧）元みよしの旅館跡です　特別に御安く致します

北投温泉
旅館カフエー　神泉閣
電話二六八番

御旅館　御料理　吟松庵
北投温泉　電話六三番

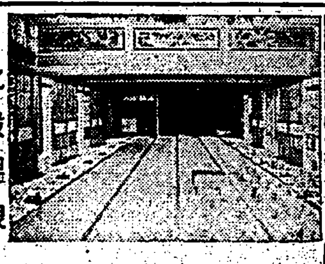
御旅館　御料理　ひようたんや
北投温泉噴水前電話一二〇番

北投温泉
御料理　御旅館　竹葉
新年の御宴會は何卒竹葉で
電話一四〇番

北投唯一の大宴會場
御旅館　御料理　松濤園
北投温泉　電話三〇番
◎何卒本年も御利用を願ひます
最新式のセリ揚げ舞臺裝置

新築落成
北投温泉
眺望絕佳
御料理　御旅館　花月
電話一三七番
新春の御宴遊には木の香新しい花月まで是非御越し下さい

明けましてお目出度う
本年も新年宴會は當方の廣間を御利用願ひます
特に御家族連れを歡迎致します



北投温泉
割烹旅館　松島（松島屋改メ）
電話一七五番

北投温泉
御旅館　御料理　ぎおん
電話二四番

御旅館　御料理　八勝園
北投温泉・電話二六番

北投檢番
北投料理屋組合
北投庄北投七三　電話一〇六番
本年ニ限リ花付枚廢止致シマス

臺北榮町
金庫の藤川

漢文臺灣日日新報

國府欲使日本陷於窮地
十六日前欲開戰端
命僞勇軍及民團軍

三十一日南京電。國民政府。本日由張學良。對熱河東北僞勇軍。民團軍。欲使日本之於聯盟立場。陷於窮地。此策戰上。一月十六日前。欲與日本軍開戰端。發此嚴命。目下熱河之僞勇軍配備如左。第一路劉龍泉熱河。第二路李鑑如錦西。第三路夏延康開魯。第四路王天樹朝陽及北平。第五路吳需漢北票。其他沿桂延等各民團軍。配於各地。

學良接蔣介石命令
徹底努力抗日

三十一日天津電。張學良於三十日。由國民政府軍事委員長蔣介石。接左記電命。北方事態複雜緊張。任貴下爲河北抗日全權辦理。今後臨機措置。不待中央指示。宜徹底努力抗日。

三角地帶最初戰鬪
敵匪損傷五十名

一日奉天電。三角地帶討伐出動中第〇〇〇、都城飯田部隊最初戰鬪。三十日在岫岩西南方八里莊河堡子及轉洞溝舉行。我負傷者上等兵上村時雄（大腿部貫通）一等兵佐藤伊三郎（左足貫通）永俟秀吉（左脇部貫通）。生命無異狀。敵匪損傷五十名。

東鐵東部線
掃蕩匪賊

一日奉天電。姬路〇〇期昭和八年元旦。欲掃蕩東鐵東部線一帶匪賊。一齊開始行動。由城子駐屯隊、宗島〇隊、中村中佐所指揮〇隊。受姬路〇〇指揮出動。

命各地駐屯軍
集結平津

三十一日南京電。據確報國民政府。更對各地駐屯軍。發平津集結密令。欲與日本軍開始前面的戰鬪諸般準備已整。右乃蔣介石恐失熱河。而失滿洲抵抗之根據也。

煙筒山莊河鎮
與敵衝突

一日奉天電。吉敦線方面守備。濱津部隊。三十一日在煙筒山北方六里莊河鎮。與四百敵衝突。以裝甲車追擊。完全擊破之。

何第九師長
提出辭表

一日北平電。山海關警備隊長第九師長何柱國。三十一日對學良。提出辭表。其理由乃關前日。山海關事件。不奉上長之命。擅向日本軍陳謝。學良欲將彼免職與否。尚考慮中。

明治神宮
參拜者擁至

二日東京電。初春溫暖。元旦明治神宮參拜者。自除夜鐘鳴時。四方擁至。青山參道非常雜沓。殊如本年。因滿洲戰時氣分。及通貨膨脹景氣。參詣者增加。在鄉軍人團、青年少年團、團體參拜者甚多。午前零時至正午。遂四十萬。已逾昨年一日夕刻之數。一日中參拜者數六十萬。乃近年稀有盛況也。

關東軍新年
遙拜式

三十一日東京電。關東軍冒滿洲大雪。日夜奮鬪。意義甚深。在新京迎昭和第八春。新職萬歲。元旦於司令部營庭。舉遙拜式。午前九時三十分。武藤司令官正裝。威儀端正。出立前庭。小磯參謀長以下幕僚。及各課員一同。整列如棋羅星。全員對東天遙拜。恭拜御眞影。小磯參謀長。代表軍司令部一同。對武藤司令官。述新年祝辭。誓第二年健鬪。次武藤司令官答辭。三唱天皇皇后兩陛下萬歲。拜賀式終。一同企雜甕。舉祝盃。

國府查眞相
石木氏殺害說

三十一日天津電。石木囑託殺害說。刺戟日本。國民政府開祖。神經過敏。羅外交總長。致電學良。詢問眞相。學良於二十九日返電如左。石木囑託殺害說無根。猶由熱河軍之手。監禁同氏。彼係討匪賊。以攪亂熱河。證據歷然。不可釋放。

蘇俄駐華
大使任命

一日莫斯科電。蘇俄政府決起用移邀毛老氏爲來南京政府承認。已得承諾。乃將同氏。正式任命爲駐華大使。同氏曾爲波蘭駐在公使。駐德大使館一等書記官。駐英大使館參事官。乃少壯外交官也。

新春好況
乘降客增多

二日東京電。通貨膨脹景氣。元旦賀春之人甚多。鐵道省各驛。乘降者數。多於昨年一、二成。是日乘降者最多者。乃明治神宮表門原宿驛。平常雖閑散。今多至三十萬九千人。次新宿二十萬。多於昨年二成。上野驛九萬七千。其他兩國驛六萬。品川驛七萬。皆見增收。昭和八年景氣十分發現云。

屠蘇醉飲中
新竹某官舍
賓主格鬪

新竹某官舍黃某。元旦宴賀年知友。飲至酩酊。而座中有何某。玉山頹時。主人爲表慇懃。更强以屠蘇。忽惹其怒。乃以所携酒研。向黃面部擲去。致傷顏額。至於流血。同座客翻。向双方排解。但命鄭某。致酒謝罪息事。

累新娘驚恐
減給轎資
與夫跌倒田中

竹東郡寶山庄寶斗仁鄒某次女阿妹。元旦出嫁。於同庄双溪林某爲媳。所雇兩輿夫陳阿來。陳阿木。共舁花轎。至崎頂路上。因力不支。由崎頂跌倒于田中。然後仍舊舁至男家。但林早覺之。恐有傷及新娘。將其工資。罰減大半云。

全島各地新年官民交禮會
臺北總督以下多臨市尹發議
電慰松岡代表三司令
滿場一致贊成即時打發

▲臺北 市役所主催。元旦午前十時二十分。如例開於鐵道大旅館。中川總督。以下文武官民。約千五百餘名。濟々臨場。即分之大餐廳。及餘興場兩處。一同位定。川添助役起述開會辭。西澤市尹。起述敍禮。既而筵開。同飲屠蘇。宴半。市尹復起發議。慰勞督府松岡帝國首席代表。及滿洲武藤關東軍。中村臺北駐屯軍。山之內澎湖駐屯軍三司令官。滿場一致。大呼贊成登時打發。無何。奏國歌一同。中川總督發聲。三唱兩陛下萬歲。同三十五分。陶然而散。

▲景美 官民有志。八時半。與男女學童。在公學校。舉拜賀式。同九時舉因懇話會主催。會員數十名。聯袂參拜臺灣神社。而後齊到圓山。席地暢飲。過午仍聯袂歸去。

▲瑞芳 元旦拜賀式。庄役場。午前八時半起。在二階會議室。瑞芳小學校同九時起。公學校十時起。各自舉行。又庄民一同。十一時起。齊集庄役場。開新年名刺交換會。至同零時半頃散。

▲沙鹿 公會堂開名刺交換會。官民有志。多數參集。盛舉祝宴。又諸官衙及小公學校。亦均舉式拜賀。

▲竹山 上午八時四十分公學校。九時小學校。舉行四方拜。式後十時。更在公學校雨天體操場。開名刺交換會。出席者二百名。首由林庄長敍禮。一同起立。合唱國歌。繼開宴。最後朝倉郡守起立。三呼萬歲。一同唱和。十一時半頃散。

▲南投 公學校。開新年交禮會。與會者三百餘名

比開會。合唱國歌。吉木街長祝辭。宴半。藤田郡守。登壇三唱兩陛下萬歲。衆和之者三。乾杯而散。

▲嘉義 午前九時起。市役所。警察署。法院。在鄉軍人。郡役所。中小公學校。各舉拜賀式。十時市役所主催官民合同交禮會。開之公會堂。與會者五百餘名。白井財務課長述開會辭。廣谷市尹。朗讀祝文。宴半。眞木商工會長。舉杯三唱萬歲。一同和之。然後散會。

▲朴子 街役場。及男女小公學校。午前九時。均舉新年祝賀式。十時公會堂。開新年祝賀會。々員二百餘名。先行名刺交換。然後著席開宴。酒過數巡。黃街長。起讀祝辭。畢一同歡飲。春風滿筵。旭陽揚。酒酣興高。齋藤郡守。發聲三唱萬歲。一同乾杯和之。盡歡而散。

本社主開大野球戰
元旦午後一時半
春光駘蕩中於圓山球場

東部六大學野球稱霸之法政大學。因受本社之招聘。於臘底來臺。元旦午後一時半。在春光駘蕩之圓山球場舉行。是日也。大屯之秀麗。劍潭之清流。環擁球場之間。大正街道。參球客。絡繹不絕。午後一時。法政選手。由藤田監督引率。出吉妻旅館。直到球場。由正門堂々入場。是時觀覽席。已無立錐地。鼓掌之聲雷動。由是兩軍。移入自由打擊。闘將武田。賢成田。田子及CB田中、黑田、吉田等俱磨拳以待。審判席。則有大澤、石井、飯島三氏。CB軍。整齊就守備位置由法政大學之武田先攻。爲時在午後一時三十二分。新春本社主開之東部六大學稱霸之法政。對本島球稱雄之CB。已開第一回戰矣。

比試經過
十七對三

自第一回。至第九回CB計三。法政計十七。竟以十七對三。歸法政大學大勝。至三時四十二分告終。比試時間。計二時間十分云。

二日對鐵比試
兩軍緊張

元旦。在圓山球場。大破CB之法政。翌二日午後一時半。再於圓山球場。對鐵團開始比試。結果如

萬華島人青年
野球大會

萬華本島人體育方面。漸次向上。爭時對野球、庭球、朝氣會、頗盛。茲由同地青年團主催。二日午前八時。在老松公學校。開第一回軟式野球大會。參加團體者。有齒科技工師團、蓬萊園、若葉園、有明園、星園等。每團十五名。八時開會。先來入場式。揭揚國旗（音樂隊吹奏國歌）會長敍禮。代表宣誓。次始球式。最後比試。初日午前中。錦星對龍星。有明對若葉。三日午前中四科對龍星。華星對有明。五日八日。午前午後皆有。凡三回優勝之團體。則附與優勝杯。今後每年春秋兩回。繼續欲舉行云。

嘉義野球

體協嘉義支部野球部。去一日午前十時半。在嘉義公園球場。主催全島中等學校選拔野球戰。午前中北一中對中商。午後一時半起。嘉農對北工試合。翌日午前十時。續行主催午後開決勝戰。極呈熱鬧。

本社抽籤
午前中二等籤
發現二枚

本社照年例於昨二日午前十時。舉新春開運大福引。定刻前。市內讀者。早已魚貫相接以待。及至定刻奏樂。燃放爆竹。一々入福引場。抽福袋。然後轉入景品場。交換景品。直至午後三時。照定刻閉場。二等以上。

特等（午後二時五十五分）
市內兒玉町五ノ八 末廣早苗 二十三

一等（午後一時四十分）
市內水道町一四 小村銓 年十五

二等（午前十時五十五分）
市內東門町九六 佐々木道雄 年三十

同上（午後十一時十分）
市內錦町一二七 大橋令 年十二

瑞芳

信組行事

瑞芳出有限信組。近將出資一口拂入二十圓者。變更爲十圓。俾一般便於加入。自上旬起着令。新加入者。突破二百餘名。合口計有五百二十餘名之多。又本年値滿十週年記念。訂於正月十四日午前九時起。在瑞芳庄役場會議室。舉行記念式。並開懇親會云。

檢查車路

瑞芳郡醫門之自動車路。去二十七日。受州保安課。派野村技師及郡吉田司法主任。舉自動車驗。實地檢查。即瑞芳郡役所及車庫改築。得無采通之中間連絡方面。想思子路。又瑞芳小學校下之道路。代勾配關係。再受命以改築。諒止月中。能得開通。陽次番敷舞來。係瑞芳同庄長牛越氏及滿中人。野呂泰氏出代辦云。

配抽籤券

瑞芳本報取次人長木袈裟君。爲開張本新春開運。去二十九日起。對讀者配布福引抽籤券。抽籤日定來一月二日。自午前十時起。至午後三時。抽籤券有效於當日限云。

墨瀋餘潤

客日異報。只限正月號。臺北市內於二日。其他於三日中配布。

人事

▲臺華陳其春氏令愛蒨子女士與嘉南周天生氏令郎景祥君締婚。定來十四日在臺南公會堂舉式。媒酌乃黃欣氏。新郎爲商學士。勤務於勸銀臺南支店。新婦卒業東京女子高師。

詩壇

癸酉元旦　黃欣

自笑知非容、東風憔悴身。
披圖忘故我、終歲不如人。
塞外干戈老、天南日月新。
屠蘇療病疾、四十九回春。

萬なかだち
求緣一件一圓
其他一回
名
代貸家 [illegible]

臺灣農村指南（二）

農村自力更生
小學飼牛興農

三重縣多氣郡川添村。西村々長以下吏員。藤原西部校長以下職員。共以村之更生。必先充實小學教育。因將教育設備費追加。建實驗實習作業教室。備各種器具。更自後山引水於教室內。校地一隅。築牛舍。堆肥舍。飼料室。飼料調理場。以飼和牛。村之地瘦。生產力弱。先改良學校實習田使牛。田一段平均收二圓土肥。漸及於全村。平均收五俵米。使與童牧牛。涵養其家畜管理愛護之精神。凡諸從業木材。概係學校師生。自學林伐出云。

生徒勤勞奉仕
四年費省萬餘

三重高等農林學校。生徒四百名。去昭和三年秋。爲紀念御大典計。相約勤勞奉仕。是後凡校舍校園。自行整頓。至客臘設校創立十周年紀念日。經過四年。已遂重要目的。校風以立。士氣以成。凡節省校舍修繕費一萬二千圓。今後更擬遵守云。

村農會立會是
村民自力更生

淡路津名郡仁井村。昭和七年度。照縣指令。定農會是。節約冗費。自給肥料。利用餘力。稱地作物。尤爲多角農業。集約農業。全村三百餘戶。無一赤字。耕種收入。米麥二萬三千百圓。枇杷三千三百四十三圓。柿千四百四十六圓。農產加工二千四百四十七圓。養畜一萬一千五百八十四圓。養蠶及山林。一戶平均年收六百二十一圓七十四錢。支出生活費（經常）四百十六圓三十九錢（臨時）六十二圓三十錢。公課九十八圓。農業經營費六十五圓三十九錢。合計六百四十二圓七錢。對除不足二十圓三十二錢。然除一萬五千四百五人之力。川之隣近町村。得一萬二百三十二圓四十錢。一戶平均約收四十圓。究其原因如左。

一、山村僻地。一家五人生活費。約省百圓。即重家庭經濟。節省冗費。

二、家々飼牛或馬。肥料自給。田園一段。金肥支出。可省四圓强。

三、農業單純。勞力餘剩。并消化於他方面。

養鷄擇多產卵
近三百五十箇

播磨種鷄場。曾檢中國四國十縣養鷄產卵能力。兵庫縣一羽。最高能產三百四十八箇。比之世界最高三百五十八箇。僅遜十箇。其次廣島縣。最高能產三百二十九箇。平均百二十箇。然爲灌水太甚。卵價太低。外國飼料。不能和盤。農家割烹。採算不利。必要大規模。專業經營。自給自足。且所養鷄種。亦要精選。白色「諾爾本」產卵極少。黃色「列特」產卵既多。且肉亦豐。該種鷄場。意議希望之人云。

養豚事業發達
獎勵製造火腿

岐阜縣下。養豚事業。近大發達。多至一萬八千六百頭。比六年前。約有倍數。縣當局。客臘爲謀豚價安定。農家增收起見。獎勵肉豚加工施設。普及於縣下。決定八年度。於縣種畜場內。分場。製造火腿。以供一般之需云。

面膚髮之
◎ミツワ石鹼

純正雪文、以酒精溶解至透明、因無遊離脂肪、故不濁潤、又因無混雜物、故不見沈留滓滓。再用「フエノールフタレイン」（面鹼見付大變印）細驗其遊離亞爾加里時、仍毫無反應者、正所謂正純雪文也、我國人皮膚粗澁、皮脂分泌量亦多、尤尙黑漆毛髮之風者、當其洗滌用何雪文、切不可止因化學上謂純正雪文、立斷其適否耳。

◎ミツワ石鹼欲圖品質愈佳不遺餘力日夜埋沒於科學的研究諸技術家士要各位
理學博士 小平 [illegible]氏
農學博士 河村正[illegible]氏
工學士 三國大郎氏
工學士 野中正夫氏

◎ミツワ石鹼
不唯稱謂化學上純正雪文、尚具備有左列諸性狀。
一、確有溫雅芳香。
一、能生出極細泡沫、作用緩和、於洗滌時決不殘止文底碎。
一、含有適度溶解性、浸水易解、而無中途溶崩之虞。
實於各家庭、浴室用化粧用、俱合我國人用以洗滌皮膚毛髮等、最宜衛生、世可節省之理想的實用品也

◎ミツワ石鹼有德用大形 三塊匣、六塊匣、一打匣三種

トモエ石鹼
サーワ白粉
ミツワ家庭藥
ミツワ煉齒磨
ミツワ椿油
肝油ドロップス
ミツワ藥用葡萄酒
ミツワ純良葡萄酒

發賣元 ◎ 登錄商號
丸見屋商店
東京・兩國
藥劑・滋養料・石鹼・香粧品・小間物問屋
振替口座東京七一〇番
電話浪花代表番號（67）一一〇〇 四四〇 六四三 一八〇番

對台灣島以各格外勉強從命敢祈直向敝商行賜顧訂購爲荷

張 合名會社 德昌商行
臺北市入船町一丁目
電話一一三九番 振替臺灣一一六五番 電略（トク）又は（ト）

Mitsuwa Soap
MADE IN JAPAN
ミツワ石鹼
（現品寫眞圖）

A.48